

1. 件名：「玄海原子力発電所3，4号炉及び川内原子力発電所1，2号炉の地震等に係る新基準適合性審査（標準応答スペクトルの規制への取り入れに係る変更）に関する事業者ヒアリング(10)、(10)」

2. 日時：令和5年1月25日（水）16時00分～18時25分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者（※：テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁：名倉安全規制調整官、佐口主任安全審査官、谷主任安全審査官、岸野主任安全審査官、西来技術研究調査官、鈴木安全審査専門職、馬場係員、田島技術研究調査官※、松末技術参与

九州電力株式会社：土木建築本部 副本部長 他6名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

<<当日提出資料>>

・川内原子力発電所1号炉及び2号炉 標準応答スペクトルを考慮した地震動評価における地下構造モデルの設定について〔参考資料（検討状況）〕

<<本年1月20日に受取済み>>

・川内原子力発電所1号炉及び2号炉 標準応答スペクトルを考慮した地震動評価における地下構造モデルの設定について（コメント回答）

<<本年1月24日に受取済み>>

・玄海原子力発電所3号炉及び4号炉 標準応答スペクトルを考慮した地震動評価における地下構造モデルの設定について（コメント回答）

時間	自動文字起こし結果
0:00:02	はい。規制庁鈴木です。時間になりましたので川内玄海の標準応答スペクトルを考慮した地震動評価、地下構造モデルの設定についてのコメント回答と、
0:00:12	ということで1回目のヒアリングを実施します。資料の方は川内が1月20日付玄海が昨日の1月24日付で、
0:00:23	資料の方をもらってますので、まず事業者の方から説明をお願いします。
0:00:30	はい。九州電力の本村でございます。本日はよろしくお願いたします。本日のご説明資料の確認ですが、先ほど鈴木さんの方からありました通り、標準応答スペクトルを考慮した地震動評価における限界、
0:00:44	の地下構造モデル設定に関するT T 016、それと、川内の方になりますが、T T S 016の二つの資料になります。
0:00:54	冒頭からちょっと申しわけございませんけども、川内の方、T T S 016と記載しておりますが、資料番号にちょっと誤りがございまして、正しくはT T S 017となります。
0:01:08	申し訳ございません。この二つの資料、お手元にありますでしょうか。
0:01:15	まずですね玄海の方を先にご説明して次に川内の方をご説明させていただこうかと考えてございますが、よろしいでしょうか。
0:01:26	はい。順番はそれどちらでも構いません。新海からですね。お願いします。はい。す。それでは玄海のT P G 016の資料をご説明させていただきます。
0:01:38	まず1ページの目次を開いていただきまして、コメントリスト及び今後のスケジュール、地下構造モデルの再検討、地下構造モデルの設定。
0:01:49	最後に地下構造モデルの全体の妥当性確認という流れでご説明させていただきます。
0:01:56	3ページ4ページに、コメントリストを記載してございます。
0:02:02	4ページの方になりますけどもNo.12ということで、前回の審査会合のコメント、地下構造モデルについて追加調査結果に見られる一部の周期体におけるピークは、適切に評価できていないことを踏まえ検討すること。
0:02:16	こちらについて、本日までご説明させていただきます。
0:02:21	5ページになりますけども、今後の審査スケジュールについて、示してございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:27	本日、地盤減衰に関するコメント回答、これに関する審査会合を2月の初旬と考えてございます。
0:02:36	12月の、前回の審査会合でご説明したスケジュールから、半月ほど遅れることとなりますが、模擬地震は、SSR-6の策定について、
0:02:47	2月末の資料提出、3月中旬の審査会合会合を考えてございます。
0:02:54	また、後程ご説明しますけれども、地盤減衰について見直しを考えておりますので、2段目のところですね、既許可の地震動評価への影響確認というのが、再度実施しまして、
0:03:07	模擬地震はと、同じようなタイミングでですね、同じタイミングで資料提出、会合ということを考えてございます。
0:03:16	Ssの確定後、基礎地盤の安定性解析に入りますけれども、先ほどの半月遅れのため、特重の方については半月遅れの7月中旬の資料提出。
0:03:29	一方、特重以外については半月間前倒しの8月中旬に資料提出を考えてございます。審査スケジュールについては以上でございます。
0:03:39	6ページ以降が、地下構造モデルの再検像ということで、なりますけれども、7ページ開いていただきまして、まず、第1103回審査会合におけるご指摘ということで地下構造モデルについて追加調査結果に見られる。
0:03:56	一部の周期体におけるピークが適切に評価できていないことを踏まえ検討することというご指摘をいただきましてございます。
0:04:04	これを踏まえまして8ページに検討概要を示しております。
0:04:10	まず、金ページから19ページにお示ししてございますけれども、解放基盤相当において地震観測記録の応答スペクトルは、
0:04:21	一部の周期体における特徴的なピークは見られないと、まず確認してございます。
0:04:27	なお、金ページから19ページの応答スペクトルについては、12月の審査会合から、
0:04:34	同議論の結果を追加してございます。
0:04:37	続いて20ページから24ページに示しておりますが、
0:04:42	PS検層モデルの伝達関数に見られる一部の周期体における特徴的なピークにつきましては、計算の境界条件、要はEL-200メートルでの速度コントラストによると、
0:04:56	ということを確認しております。
0:05:00	具体的にはですね、20ページになります。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:05	こちらですね、E L - 200 メーターでの速度コントラストの影響を確認するため、Aとして、P S 検層モデルのE L - 200 メーター以深を上層藤堂様に設定し、速度コンプライアンス等をなくした場合、
0:05:22	の検討、それと、Bとしまして、P S 検層モデルのE L - 200 メーター以深のV s を大きく設定し、速度コントラストを大きくした場合の検討を実施しております。
0:05:35	21 ページ 22 ページが、速度コントラストをなくした、の場合の検討になります。
0:05:43	21 ページの通り、E L - 200 メーター以深を、その上のA層と同様に設定したAのケースを示してございます。
0:05:53	結果につきましては、22 ページになりますが、速度コントラストをなくした場合、一部の周期体における特徴的なピークがなくなることを確認してございます。
0:06:07	一方、23 ページ、24 ページが今度は速度コントラストを大きくした場合のBの検討になります。
0:06:18	23 ページの通り、E L - 200 メーター以深のA V S 大きくしたBのケースを示しております。結果については、24 ページですが、
0:06:31	速度コントラストを大きくした場合、一部の周期体における特徴的なピークが増大することを確認しております。
0:06:39	これらを踏まえましてすいません 20 ページに戻りますが、
0:06:44	二つ目のポツですね。
0:06:46	P S 検層モデルにも見られる、一部の周期体における特徴的なピークは、計算の境界条件、E L - 200 メーターでの速度コントラストによることと、いうことを確認してございます。
0:07:01	さらにすいません。8 ページに戻っていただきまして、
0:07:09	三つ目のポツですね、P S 検層モデルの特徴的なピークは計算の境界条件によるものであることを確認しましたので、解放基盤表面からE L - 200 メーターまでの地下構造モデルの妥当性について確認できたと考えてございます。
0:07:26	ただし、P S 検層モデルの特徴的なピークがあるという事実を踏まえまして、保守的に、最新分地震計地震のE L - 90 メーターから、
0:07:38	E L - 200 メーターまでの地盤減衰を、右の方に図を示してございますけども、
0:07:45	Q = 12.5 から 16.7 に見直すことといたしました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:52	で、最後に、土佐他によるブロックインバージョン結果を用いた、解放基盤相当における応答スペクトルの比較により、地下構造モデル全体の妥当性を確認することとさせていただきます。
0:08:06	25 ページ、26 ページに飛びますけども、
0:08:13	26 ページですが、先ほどご説明しました通り、E L - 90 メーターから E L - 200 メーターまでの地盤減衰について、 $Q = 16.7$ と見直しております。
0:08:29	27 ページ以降が、
0:08:32	地下構造モデル全体の妥当性確認になります。
0:08:37	28 ページに、検討の概要を示しておりますけども、
0:08:41	土佐ほか 2010、21 によるブロックインバージョン結果における震源特性に、
0:08:48	伝播経路特性を乗じまして、地震基盤相当面における地震はを作成し、その作成した地震は地震基盤相当面に入力しまして、
0:09:00	地下構造モデルを用いて、1 次元波動論により応答版を算出します。
0:09:06	この算出した応答はと、地震観測記録を
0:09:11	比較しまして、地下構造モデルの全体の妥当性について確認を実施してさせていただきます。
0:09:18	確認結果につきましては、28 ページ以降になります。
0:09:27	すいません 29 ページ以降になります。29 ページに確認結果を示しております。
0:09:34	敷地で観測された規模の大きな地震である、2005 年福岡県西方沖地震本震と、2016 年熊本地震本震の地震観測記録を用いて、
0:09:45	E L - 17 メーターの解放基盤相当位置での応答化と観測記録の応答スペクトルの比較を実施した結果、
0:09:54	下の図の通り、応答は観測記録と同等もしくは上回ると、いうことを確認してさせていただきます。
0:10:03	次のページ、30 ページになりますけども、参考として、
0:10:10	任意の任意での比較を実施しております。
0:10:15	前のページ、29 ページでは、E + F、地中で比較してございましたけども、基準地震動については、任意で評価するものでありますので、
0:10:27	2 での比較も実施してさせていただきます。
0:10:31	観測記録の方になりますけども、任意の記録としては、中しか地表の記録しかございませんのでその地表の観測記録を採用しまして、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:41	一方、応答版につきましては、
0:10:44	基準地震動を評価する解放基盤表面の任意で出力しまして、両者を比較してございます。
0:10:52	観測記録と、応答は比較した結果、
0:10:56	応答は、岩相記録の振動性状、スペクトル形状を適切に表現できていることが確認されます。玄海のご説明は以上でございます。
0:11:08	続いて、川内の方、G P S 017の資料でご説明させていただきます。よろしいでしょうか。
0:11:19	はい。スズキでどうぞ。はい。今、川内の方、ご説明させていただきます。
0:11:25	1ページ、目次に記載してございますが、コメントリスト及び今後の審査スケジュール、次に、地下構造モデルの再検討ということで今回方針だけになりますのご説明させていただきます。
0:11:40	三、四、3ページ4ページ。
0:11:42	になりますけどもコメントリストを記載してございます。12月の審査会合におけるコメントを、4ページになります、No.18に記載してございます。
0:11:52	地下構造モデルについて地震観測局等に見られる一部の周期体におけるピークは適切に評価できていないことを踏まえ検討することと、
0:12:02	ということで本日、説明方針についてご説明、次回以降、コメント回答を考えてございます。
0:12:11	5ページ目に、今後の審査スケジュールを示してございます。本日、一番減衰の件、検討方針についてご説明、2月初旬の会合でご説明、
0:12:24	2月中旬にコメント回答資料を提出しまして、3月初旬に審査会合という流れを考えてございます。
0:12:35	12月の審査会合でご説明したスケジュールから、1ヶ月ほど遅れることになります、
0:12:41	僕自身はS s -3の策定について3月中旬の資料提出。
0:12:47	5月中旬の審査会合を考えてございます。また、後程ご説明しますが、地盤減衰について見直しを考えているところでございまして、
0:12:57	2段目の方、記載してございます既許可の地震動評価への影響確認、再度実施することになるかと思えます。それにつきましては、模擬地震はと同じタイミングで、資料提出会合を考えているところでございます。
0:13:12	S s の確定後、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:15	基礎地盤の安定解析に入りますが、先ほどの1ヶ月遅れのため特重についても、
0:13:21	1ヶ月遅れの8月初旬の資料提出。
0:13:25	一方、徳洲会については、前回会合のままの、9月中旬に資料提出を考えております。
0:13:33	審査し、審査スケジュールについては以上でございます。
0:13:37	6ページからは、地下構造モデルの再検討ということで今回は方針を記載してございます。
0:13:47	7ページですが、まず第1103回審査会合におけるご指摘ということで
0:13:54	資料を再掲してございます。
0:13:57	8ページになりますが、検討方針を示してございます。
0:14:03	まず、9ページから19ページに示しておりますが、応答スペクトルによる確認におきまして、0.10、1秒から0.2秒で、地震観測記録が上回っている。
0:14:16	ということで、菅
0:14:20	玄海と同じように9ページから10ページの応答スペクトルについては、12月の会合から上下動の結果を追加してございます。
0:14:30	続いて20ページになりますけども、伝達関数の贈呈結果を示しておりますが、
0:14:38	先ほどの0.1秒から、
0:14:43	0.2秒で応答スペクトルで、観測記録が上回ることに、0.15から0.25というのは、語弊率から10ヶ月に対応するんですけども、この観測記録が上回る傾向については、
0:14:57	例えばE L、
0:14:59	上段のE L 11メートルとE L -18.5。
0:15:04	それといえる、中段のE L 11、11メートルとE L -58.5メートルの伝達関数には、見られないんですけども、
0:15:15	一番下のE L 11メートルとE L -118.5の伝達関数では、
0:15:24	その観測は居るところが見られることから、
0:15:27	応答スペクトルの0.1秒から0.2秒の、観測記録が上回る要因については、E L -118.5からE L -58.5の間にあると。
0:15:38	いうふうに考えられます。これを踏まえまして、ちょっと前のページに戻ってもらいまして8ページですね。
0:15:49	8ページの右の方に示している、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:54	図になりますけども、それとあと 21 ページ飛んで申し訳ありませんけども、E L - 58.5、医師の地盤減衰、現行では、 $Q = 12.5$ としてございますけども、
0:16:07	こちらの値を見直すこととしてございます。
0:16:11	最後に、22 ページに示しておりますけども、
0:16:24	地下構造モデル全体の妥当性確認として、玄海でもご説明しましたけども限界と同様に、加茂さんほかの A ブロックインバージョン結果を用いた検討により、
0:16:36	その妥当性を確認することとしてございます。川内については以上でございませぬ。
0:16:47	はい、説明ありがとうございました。ちょっとスケジュールの方は、何か面談の時に聞いてるのから、前回と川内は別タスクでありますように変わってるんですけどこれは後々、
0:16:58	中身を伺ってからとして、
0:17:02	説明があった先に限界の方にしましょうかね。ちょっと限界がな。
0:17:07	多分会合は、面談とかスケジュール変えて 1 回で妥当性まで説明しますと言って多分それが今の説明資料で妥当性が説明できているというつもりでのご説明だと思うんですけど。
0:17:21	一応、
0:17:23	これは前回 7 ページですかね、前々回で周期 0.5 秒のところにピークが出ていましたこの原因はかくかくしかじかですってという説明。
0:17:34	あるのですか。
0:17:37	これ 10 ページからある観測記録これ別に、これ前回の会合で出したのと同じですよ。
0:17:47	10 ページからずっとあの応答スペクトル比較結果って 10 ページぐらい並んでますけど、これ何も前回から変わってないんですよ。
0:17:55	新しく何か検討していることはないですよ。
0:17:59	九州電力の本村です。12 月の会合ではですね、N S 方向 E W 方向の結果を示してございまして、ちょっと上下の方、示してないところもございましたので、今回上下方向を追加したというところは、
0:18:15	変更点としてございます。
0:18:18	わかりました。
0:18:20	上下が追加されたとか、あれ、川内の方が、何か周期性によってはもう下が見切れちゃってるのはそれは川内だったかな。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:18:28	わかりました。これはそういうことでなので、上下も見ましたけれども、
0:18:33	観測地震計のところでは、範囲では、特にこういうどこかこういう特別な周期で増幅してるっちゃうのはなかったですと。
0:18:46	今回 P S 検層モデルによる検証の結果、
0:18:51	0.5 秒のところではねた原因のところ、一応
0:18:58	これはあれですかね、20 ページのところを見ると、
0:19:02	-200 のところでボーリングを掘った範囲のところ、その下の -200 のところで、それより下の、
0:19:12	V S V P を入れなきゃいけないんだけど、それは何を入れたかという
0:19:17	と、
0:19:17	21004000 円で入れたので、
0:19:20	その結果ですと、
0:19:23	いうことなんだけれども、もうちょっとすいません技術的な面でよくわからないんですけど、
0:19:29	これ 21 ページで、
0:19:32	ボーリングで掘った 200 メートルまでの、
0:19:36	V S V P を、その下までずっと入れてるんですけど、
0:19:42	でもこれって地下構造モデルルーは V s 21004000 にしてるんで、
0:19:47	ただ、いずれはこれどこかで V s 2100 とか 4000 の層がないとおかしいことになるんですよ。
0:19:54	ただそれは、今回この検討結果とは影響しないのかな。
0:20:00	この V s 200 の、
0:20:02	面で、
0:20:04	何か、
0:20:06	速度層に違いがなければ、
0:20:10	それは説明になるんですかね。ちょっとすいません聞いていることがよくわからなければあれなんですけど。
0:20:15	ここ速度層コントラストをつけなかったとしてもどっかで速度層速度のコントラストでつくんですよ。
0:20:26	そう。多分実際、実際のところ、
0:20:30	これって O O I 湾とか 200 メートルまでしか掘ってないんでしょうけど、これずっと下まで V S 1550 で、
0:20:38	あるところから急に 3000 になるとかってこともないでしょうから、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:44	九州電力の本村です。今一応、P S 検層結果としては 200 メーターまでしかございませんで、実際その下がこの P S 検層の位置で、
0:20:55	どうなってるかっていうところはわかりませんが、おっしゃるように、深いところ、どこになるかわかりませんが、いずれ、いずれというところと変ですけども 2100 の層とかが、
0:21:06	出てくるかもしれません。ただ、200 メーターの境界でどう A V S を設定するかと、200 メーターより深いところをどう設定するかっていうのは、
0:21:15	ちょっと根拠がないところも、調査ではわからないというところで、評定とスペクトルモデル 2100 っていうのを、今回、90 万から 93 まで入れ込んで計算をしたと。
0:21:29	ただ実際ちょっと安穏なところがございますで、明らかにこの速度コントラストで影響が出てるのは、
0:21:38	間違いないかなというところで、パラスターの一つとして、速度層、下の方ちょっとわかりませんがそれを伸ばす時に、やっぱりその速度コントラストの影響だということを確認したかったので、ちょっとこういう検討を入れさせてもらってると。
0:21:56	いうところで、逆に B の方の検討結果を、V s を大きくした場合を、ちょっと検討してますけども、そういう二つを見ますと、速度コントラストの影響だというところで、
0:22:07	0.5 秒のピークというのは、説明できるというふうには考えているところでございます。
0:22:15	はいなんで実際ボーリングは 200 メートルまでしかないんで、その下どこまでがどこにコントラストがあるのかは実際のところはよくわかりませんということだと思んですけど。
0:22:25	これなんか 1550 とかですね、の P S 検層モデル、P S 検層の結果、200 メートルまで - 200 まで分かってる部位 S D P をそのまま使った場合と、
0:22:37	極端に 1 個下の層ですよ 3100 とか 5500 まで極端にやった場合と、
0:22:42	もともとの A V S 2100 ですか。
0:22:46	でやった場合と、
0:22:48	三つあるんですけど、
0:22:50	これ三つの中に、正解と思ってるものが何かあるんですか、これ。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:55	5001550 にし、してるのもこれも真実かと言われるとそうでもないような気もするんですけど。
0:23:02	結局食うん 2100 のものと 1550 のものと、3100 人、
0:23:08	したものと、どういうふうにするとどういう傾向があるかわかるんですけど、結局なんか何が正解のものなのかよくわからないんですけど、
0:23:18	でも後ろを見ていくと、
0:23:20	いやいや原因はもうわかったんで、でも、
0:23:24	でも保守的に、
0:23:25	Q 値を見直しますと言って、
0:23:28	いるので、
0:23:30	ただそこの繋がりがよくわからないんですよ。何かもう原因わかりました特定しました。何で現在のままだもいいと思ってますだけでも、90-90 から、
0:23:41	200 までの Q 値は少し変えてみましたと言っているんですけど、
0:23:45	いまいちその 21 ページからの説明を見ても、
0:23:49	何か正しいものが何なのかっていうのが、一向に見えないんですけど。
0:23:53	むしろ、
0:23:55	例えばこういう検討もできるんだけど、結局、実際のところはそれより深いところはよくわからんので、保守的に Q 値を変えましたっていう説明なのかなと思ったんですけどそうでもなさそうなので、
0:24:06	その辺何が正解なのかなっていう。
0:24:09	いや、どこまで。
0:24:10	いじってあげれば解消されるのかも、懇切に見てもよくわかんないんですよ。
0:24:18	九州電力の本村でございます。確かに 3 ケース、やってございますけども、そのうちどれが正解かというところは、ちょっとわからないところもございますけども、
0:24:30	P S 検層の結果とかを見ますと、この P S 検層結果が 200 メーターより近いところまである可能性は高いかなっていうところはちょっとあって、ただちょっと、
0:24:42	実際掘ってないので、ちょっとわからないところがございまして、我々としてはこの 200 メーターの境界のコントラストっていうのが、0.5 秒のピークだと。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:51	思っているものの、先ほどの鈴木さんのご指摘とかもございまして、E L - A と地震計より深いところですね。
0:25:03	何かあるんじゃないか、増幅に寄与するものがあるかもしれないというところで、今回保守的にですね、もともと 12.5 だったところを、6.7 と。
0:25:15	変更すると、見直すというところで、今現状ちょっと考えるところでございます。
0:25:28	やっぱりよくわからない。9G-123 のところで、いやこれが実際に 100 メートル下もある程度まではこのぐらいの V s V p なんですよって言われると、
0:25:38	もともとの標準応答スペクトルのモデルがおかしかったんですかということもそういうことでもないんですね。
0:25:45	そうすとまた何かこのボーリングコア、ボーリングを掘ったところだけが、何か特別に V S V P がそんなに早くなかったんですよって、変なところを掘りましたっていう説明に、
0:25:55	なんですかね。
0:25:57	そう。ちょっとそこら辺が、
0:26:02	この分 2-200 までの、
0:26:05	V S D P が、これのあたりが正しいんですそれよりも深いところも同じぐらいなんですよって言うってことと、
0:26:12	なんていう加瀬線が限界で各委員会の代表的なその近く地下の速度構造が標準応答スペクトルモデルですよっていうこととその他バッティングしてるような気がするよと。
0:26:24	あとやっぱりこの 16. 12. 56.7 だからこれ 4% を 3% にしたんですかね。
0:26:32	何でなんかその 4% をとりあえず 3% にしてみましたって言われてもじゃあ 3% でいいんですかというところが、いまいちぴんとこないんですけど。
0:26:40	いや 4% よりちょっと 1% を減らしてみたんでいいんじゃないですか、っていうその説明になっちゃってて。
0:26:48	これで、
0:26:50	何ていうか妥当なんだという説明になってるのかというところが疑問なんですけど。
0:26:56	ごめんなさい。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:00	規制庁佐口ですけど、ちょっと今話が、
0:27:05	ちょっと変な方向に、
0:27:07	言っていないかと思ってですね一度確認をさせていただきたいんですけど。
0:27:12	21 ページっていうのは、20 ページ以降ですね、これっていうのは、結局、前回示されたところの、
0:27:23	0.5 秒付近に何かピークがあって、それは何によって、現れたのかという、あくまでも確認をするために行ったものであって、
0:27:36	実際にこういう、
0:27:38	モデルかどうかっていうのはちょっと別の話と私は理解していて、なぜかっていうと例えば 21 ページで、
0:27:46	これはあくまでも、もう、
0:27:49	200 メーターより上の層がずっと続いていると言ってますけど、結局このコントラストがなかったもの。
0:27:58	ていうので確認をしてみた。
0:28:01	ただしですよ。ただし 22 ページで示されている、黒線っていうのは、もともと標準応答スペクトルモデルということで、200 メーターのところに、
0:28:11	コントラストがあるようなモデルで、本当はこれ比較するのは、よくないですよ。
0:28:19	何が言いたいかっていうと、21 ページで、この 200 メーターより下っていうのを、
0:28:26	P S 検層モデルですね。これ一律にするのであれば、
0:28:30	この標準応答スペクトル。
0:28:32	このモデルですね、これも同じように、200 メーター以下を、
0:28:38	一律に、200 メーターより上の層ですね。
0:28:41	にした上で比較して、
0:28:43	どうかというのを見ないと、
0:28:45	それは何が言いたいかっていうと結局 8 ページの、
0:28:49	3 ポツ目ですよ、3 ポツ目上記の結果から解放基盤表面から E L - 200 メーターまでの地下構造モデルの妥当性を確認と。
0:29:00	されてますけど、実はこれ妥当性って確認されていないですよ。
0:29:03	そういう先ほどの条件を同じにして、つまり、これ 200 メーター - 200 メーターですね、21 ページ以降で、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:13	入れてる入力するんで、計算上は、
0:29:17	このマイナス 200 メーターより下も使って計算するんでっていう話なんですけど、そこは情報、条件を一緒にしていただいて、むしろ、
0:29:27	200 メーター。
0:29:28	ガラッと言いつつも、この 200 メーターより上の、
0:29:33	そうですね、これを最終層として計算をしていただかないと。
0:29:39	それぞれ妥当性は確認できないんですよ。
0:29:42	なぜかっていうと、この 200-200 メーターのコントラストが聞いているだけですよね。
0:29:49	いえ、もっと例えばですよ。極端な話をすると、21 ページの、
0:29:55	もともとのこの
0:29:59	P S 検層モデルで、201 メーターにコントラストがあって、
0:30:04	実際は、
0:30:05	だけど、200 メーターより上しか計算しないのでっていうと、当然ながらその 0.5 秒のピークはあらわれないんですけども、
0:30:14	201 メーターにコントラストがあって、205 メーターとか 210 メーターから、
0:30:19	計算すれば、当然そのコントラストがあるので出てくるわけなんですね。
0:30:24	なので、ここは条件をまずそろえていただいた上でですよ。
0:30:29	やっていく、いただかないと妥当性の確認という意味では、多分言えなくて、あくまでも今されてるのは、このコントラストによって、この 0.5 秒のピークが、
0:30:41	出ているんですよという、あくまでもそういう説明だけ。
0:30:45	ですよというのが私の理解なんですけどそれで合ってます。
0:30:53	はい。九州電力の本村でございます。佐口さんからの
0:30:58	お話ですけども、我々もちょっと、ちょっと説明の方がまずかったかなっていうところがございまして、条件がちょっと一致してないというところはございます。
0:31:10	それでちょっとそこら辺、
0:31:13	検討が必要かなというふうに思ってますけども先ほどちょっとありました 200 メーターより、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:19	200 メーターで、増幅を見るんじゃないなくて、それ、浅利所例えば 199 とか、そういうところも検討してございますので、ちょっとそこら辺条件をそろえてですね、
0:31:30	ちょっと今、条件がそろってないところがございますので、そこら辺ちょっと確認していこうと思っております。以上です。
0:31:41	はい規制庁西郷施設も、もう 1 回念のための確認ですけど、なので、あくまでも、この 21 ページ目以降っていうのは、
0:31:49	前回の資料で言う、0.5 秒のピークっていうのは、ここの -200 メーターというところのコンプライアンスでできたものであって、実際の P S 検層では当然それより下も含めて、
0:32:02	ここにコントラストがあるのかないのかというのは当然確認がされていないと。
0:32:07	いう状況で、あくまでも、前回の資料で、0.5 秒のピークっていうのは、こういうもので作られたのが要因ですよとそういうご説明だけをされたいという。
0:32:21	理解でよろしいんですね。
0:32:26	はい。九州電力の本村です。今佐口さんがおっしゃられた通りのことを考えておまして、モデル上の話で、200 メーターのコントラストというところで、
0:32:39	が理由だということをご説明したかったと、いうところでございます。
0:32:46	はい。規制庁、佐口ですわかりました。なので、ちょっと先ほどのさ、8 ページの 3 ポツ目のこの、この部分の妥当性を確認というのは、
0:32:57	やっぱり当然また別途資料をつけていただかないと、今のままでは確認できないと、いうのと、
0:33:05	正直私、驚いたのが、やっぱり 5 ページのスケジュールなんですよ。
0:33:11	スケジュール見ると、
0:33:14	冒頭に鈴木の方からもありましたけど、
0:33:18	今回この資料のみで、
0:33:20	要は地下構造モデルの妥当性を全部示し切るといって今多分スケジュールになってると思います。なぜかっていうと、もう次回、
0:33:29	次回、これ 2 月提出になるんですよ 2 月末提出の資料っていうのは、あくまでもこれも基準地震動、
0:33:38	に関することで、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:40	地下構造モデルの設定についてはもう今回の会合で終わりという、今そういうスケジュールに、
0:33:46	なってると思います限界はですね、川内はちょっと違いますけど、
0:33:50	そうすると、
0:33:53	やっぱりですね。
0:33:54	今の資料で本当に
0:33:57	その妥当性までいえるのか。
0:33:59	ていうところですよ。先ほどの、
0:34:03	次のところからありましたけど8ページで、妥当性は確認と、今資料がないんですけど、だけど、
0:34:10	その特徴的なピークがあると、いうことを踏まえて、200メートルまでの地盤の減衰を見直します。しかもその見直す数値としては、
0:34:21	今まで4%だったのを3%にしましたと。
0:34:25	じゃあ、なんで、しかもこの部分で、
0:34:30	しかも、
0:34:32	3%でいいのかという資料が、
0:34:36	多分、
0:34:37	どこにも、
0:34:38	ないこともないんですけど多分おそらくこれそれが29ページでだから妥当なんですよっていうことを示されてると思うんですけど。
0:34:47	じゃあ、もともとの4%だった場合ってどうなんですかね29でっていう。
0:34:53	もともと20、9ページで示されているところにもともと4%だとこれぐらいなんですけど、
0:35:01	今回3%にすることによって、こうなりましたとかですね、例えばそそういうなんか比較じゃないんですけどそういうのがあって、やっぱりより改善されてますよねより、保守性が積まれてますよねとかですね。
0:35:13	そういう資料になってなくていきなり多分これは、
0:35:17	その3%だけの結果を載せられているだけで、
0:35:22	おそらく、
0:35:23	これを見て妥当って言われてるんですけど、ちょっと面談のところ、時にも言いましたけど、じゃあ何をもってこの観測記録の内、
0:35:32	マイナス限界だと-90メートルでしたっけ、より深いところの、
0:35:37	モデルの妥当性を示すんですかっていうのが、多分それが、この

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:35:41	二つの地震なんでしょうけど、
0:35:44	場合によってはこれ、
0:35:48	大きめの地震を選ばれているのかな。
0:35:52	じゃあ他の地震はどうですかっていう多分そういう話にもなってたまたま、たまたま言って変ですけど、
0:36:00	よくあるやつだけを引っ張ってきていないですかとかですね、多分そういうひょっとしたら議論もあるかもしれないんですけど、
0:36:09	いずれにしても、
0:36:11	ちょっとこの、
0:36:13	資料を、
0:36:14	だけで、もう地下構造モデルの設定、
0:36:18	終わりですよっていうには、
0:36:20	あまりにもちょっと説明が不足してないかなっていうのが正直なところなんですけど、その辺、そのスケジュールも含めて含めてですね、あくまでも、
0:36:31	検討方針という形で、今回川内も玄海も合わせてやるのであれば当然これぐらいの資料でもいいのかもしれないんですけど、それでもちょっと、
0:36:42	本当にその検討方針自体を議論できるような資料かって言われるとちょっとまだはてなマークかもしれないんですけど、
0:36:49	少なくともこれでもう地下構造モデルの設定、終わりですという資料。
0:36:55	として本当に十分かどうかって、ちょっともう1回御社としての考え、
0:37:00	教えてください。
0:37:08	九州電力の本村でございます。本日の資料につきましては、まず、ご指摘のあったP S 検層モデルの0.5秒のピークについては先ほどちょっと資料がされてないかもしれませんが、
0:37:20	我々としては、速度金100メーターの速度コントラストの影響だと、いうところがございますけども、それで今の現状の分で、妥当かというところは、話をさせていただきましたけども、
0:37:35	やはりこの0.5秒のピークの事実を踏まえて、今回3%に見直すと、さ、そういうところもありまして3%の根拠っていうところで、
0:37:48	保守的にいうところやっておりますけども、先ほど佐口さんがおっしゃられた通りですね、29ページなりで、最終的な仕上がり、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:00	いうところで、妥当性を確認しているという話でございます。確かにちょっと直接的なコメント回答みたいな形で、資料構成上ちょっとなってございまして、
0:38:14	ただ、コメントについては、回答できてるところはちょっと思ってるところでございまして、スケジュールについても、コメント回答で、今回ご説明して
0:38:27	次回の会合でというふうにはちょっと思ってはございました。
0:38:32	ただちょっと佐口さんがおっしゃられることも十分理解してございますので、ちょっと
0:38:40	当社の方でもですね、ちょっと確認っていうか、今後のスケジュールも含めてですね、ちょっと考えたいというふうにはずっと考えております。以上でございます。
0:38:50	九州電力の明石でございます。ちょっと補足いたします。まず8ページで、200メートルまでの妥当性を確認というところまで、確かにこれちょっと説明ぶり。
0:39:03	表現ぶりとしてどうだったかなというところは反省しております。やってたことはもうさっき佐口さんがおっしゃった通り、P S 件数で見えた。
0:39:13	0.5 秒のピークとこれ、何によってもたらされてるのっていうのを確認してみた、というのが今回の資料に盛り込んだ内容でございます。
0:39:23	そのあと、当社の方でどう考えたかといいますと、とは言いながら、
0:39:30	さっきの正解がどこなのかという話もありましたけども、90 メーターよりも深いところにやっぱり何かあるというふうには考えるべきだろうという、
0:39:40	いうことで、その90 メーターの深いところを何がしかモデルを見直すということをしなければならない、いうことを当社で判断し、これはもう前回会合でも申し上げた通り、
0:39:53	もうバックデータ等もございません。速度構造そのもの、速度値等を見直すというところはせずに、減衰を見直すということによって、モデルの見直しを図ろうと。
0:40:06	いうことを判断した次第です。じゃ、そのモデルを見直した結果、妥当なのどのなのっていうのをどう確認するか、これはもう90 メーターよりも深いところ、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:17	観測記録はございませんので、我々検討を重ねてきたこの友田ほかと呼んでる知見、これを用いた確認これで、モデル全体で果たして観測記録がカバーできるような、
0:40:30	運営ことになってるかどうかという確認を、
0:40:35	やらねばならないということで29ページですか、にお示ししてるような、結局震源からたどってきた結果と観測を突き合わせるということをやったものでございます。
0:40:49	で、この地震で、
0:40:54	妥当性確認しました。大丈夫ですと、認めてくれと、言ってるのかということについてはこれもう、嘘偽り申しもしようがありませんので正直ベース申し上げますけども、
0:41:05	限界については今個別の地震計算を急いでるところで、特徴、特徴的というとおかしいですけどもこの規模の大きい不整合沖地震と、
0:41:17	熊本地震の本震、これをまずは急ぎ計算をして、妥当性を確認するといいながらおいおいという結果になってないよねっていうことに急ぎ間、
0:41:28	計算を進めてるところでございます。これも正直なところ申し上げると、計算が交え間に合った二つについて、まずお示ししているところでございます。
0:41:39	なので、これもまたご指摘ありました通り、今回の結果をもって地下構造モデルは終わり、もう次のステップに進めてくださってのは確かにちょっと当社の
0:41:51	スケジュールワーのお話をはちょっと前乗り前のみ過ぎたかなとは思っております。今後ちょっと今計算中であると申し上げましたけどもそこ、
0:42:03	失礼しました。そこはまたさらに提出させていただきながら、
0:42:09	それでまたずるずるならないように、迅速に結果の提示とご議論を進めさせていただきたいと思えます。以上でございます。
0:42:19	はい。規制庁佐口です。
0:42:22	一応本村さんと、赤井さんのお話自体は私は理解はしました。で、やっぱり
0:42:30	何ていうんすかね。実情というか正直ベースでお話いただいて正直なところ資料が間に合っていないというのが多分一番大きなところで、説明私は説明をされている。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:44	説明自体でいいか悪いかは別ですよ。なので説明自体は、理解はするんですけど、ただし、その8ページの表現ぶりだったり、
0:42:56	いうところは、ちょっと今、今の資料からはエビデンスとなるものが見えないので、多分そこは、今後資料を追加していただけたらと思っていますけれども、
0:43:10	やっぱりこの8ページの、あくまでも3ポツ目と4ポツ目の関係ですね、もしも、例えば、妥当なのは確認はできましたと例えば浅いところですね、200メートルより浅いところ、
0:43:24	衛藤。
0:43:27	うん。200メートルより浅いところなのかな。観測記録があるところなんで90メートルかで、ただしそれより深いところっていうのは、やっぱり観測記録がないのでわからない部分もあるので、
0:43:39	こういった29ページとかの、検討をやった結果ですよ、結果例えば、これまでの4%だと、若干ですね、下回っ観測記録を下回ったりとか、余裕がなかったりするんで、
0:43:53	そういったものも踏まえた上でちょっと4%に設定をしますと、その4%を主として設定した結果この29%のように観測記録、
0:44:05	同等とかもしくは上回る同等が本当にいいのかどうかかわからないんですけど、という。
0:44:11	お話かなとも思ったんですけど、そういうわけじゃなくてあくまでもなんか3%から4%に、機器逆ですから4%から3%にするという何か決め打ちの最初にそういう話があって、
0:44:27	観測記録で確認したら、まあ大丈夫そうだと、そういう話の流れ。
0:44:34	多分今は御説明されているというまた、ちょっと理解はしたんですけどちょっとそういうところも含めて、
0:44:41	ちょっと整理をした上でしかも資料というのはちゃんと充実化をした上でですね、会合に臨んでいただければと思うんですけど。
0:44:51	ただ、だからといってあくまでも検討方針というものに対して、
0:44:57	審査会合されるという予定であれば、
0:45:02	当然その、まだ資料が足りない部分もあって、今後追加して、さらに、
0:45:09	説明性を上げていくんだけど、今の時点では、こういう手を手応えみたいなのは持ってますので、こういう方針でいきたいという、多分そういう説明で会合に臨まれるんだったらそれはそれでいいと思いますんで、ちょっとその辺をですね、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:26	スケジュールも含めてなんですけど、どういうふうに進めていくか、限界としかもその川内とですね、これ一緒に行くのかそれともまた別々でいくのかとか、そういうのも含めて少しですね、
0:45:38	検討していただければと思いますのでよろしくお願いします。
0:45:46	はい。九州電力の本村でございます。確かに今回の資料、論理構成がちょっとまずかったかなと思います。スケジュールについても、
0:45:56	川内と玄海見ながらですね、ちょっと再度当社の方で検討して参りたいと思います。
0:46:03	以上でございます。
0:46:08	規制庁の名倉です。
0:46:10	ちょっとご無沙汰してましたけど、
0:46:13	今回のちょっと資料原価への見た限りでは、
0:46:18	ちょっとこの資料で、会合にかけると。
0:46:22	論理とか論理構成とその根拠に関して、
0:46:27	事実確認をした上で宿題を出してもちょっとちゃんと、
0:46:31	出してくださいねということになってしまうだけなので、あまりこう会合をやっても、
0:46:38	意味がないのかなあと、この限界は比較的九州電力としては川内よりも説明しやすいパターンとして、
0:46:48	説明されるということでこちらを先行させて、ある程度、ロジック論理とかそういったものと、エビデンスの関係を、
0:47:00	川内に先立って説明したいと。
0:47:03	いうことであれば、もう少しですね、論理をちゃんとす、そうがないようにしていただいた上で根拠を付けて、
0:47:12	可能な範囲で説明していただいた方が、会合をやって意味があるのかなというふうにちょっと思いました。
0:47:21	それで私自身もちょっと資料見てやっぱり 8 ページのところの、
0:47:26	E L 15-15 メーターから-200 メーターまでの地下構造モデルの妥当性を確認ということに関してなぜこれがいえるのか、それから、
0:47:37	そのあとのただし書きで、この
0:47:40	ピークの確認事実を踏まえ、保守的にって書いてあるんだけど、
0:47:45	これって保守的にってどこにかかっているんだらうと。
0:47:49	減衰の見直しの見直しのところに保守的にかかっているのか。
0:47:54	それとも、読み方によっては、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:58	実際のこのピークの原因があり得るかということについて事業者自身が、多分そんなにピークはないと思うんだけど、
0:48:08	それをそういうこともあるんだけどないと思うんだけど念のためにこっちの方の減衰をバターで、保守的に見ますよと言ってるのか。
0:48:19	でも実際データがないから、そんなこと言えないはずなので、この保守的っていう表現って本当に適切なのかなと。
0:48:27	ただ単に代わりにこっちで見ますよと、新聞も含めて、
0:48:32	塘座間は友田ほかブロックインバージョンの結果を踏まえて妥当性を説明しますと、ということなのか。
0:48:39	何かここら辺がですねちょっと特に8ページが疑問なると思うんですけど。
0:48:45	ここら辺で言ってることの流れ論理。それが本当に正確なのかどうか、事業者が何か意図してるところがそのまま何か気持ちとして現れて主観的に表れてしまっていないのかどうかとか、
0:48:59	ちょっとこういったところは、
0:49:01	検討の余地があるのかなというふうにちょっと思いました。
0:49:06	以上です。
0:49:15	九州電力の明石でございます。今の田浦さんからのご出席、
0:49:22	丸井ご指摘の通りといたしますか、200、
0:49:28	神経よりも深いところにやっぱ、
0:49:30	まずその200メートルの中で、妥当であるという言い方がやっぱりちょっといかなものだったのかなと思うところと、我々としても正直で考えましたのは、やっぱ90メートルで深いところにやっぱり何かあると。
0:49:43	いう見る見るべきだろうということで、これ先ほど申し上げました通り、90メートル深いところを見直す見直しにあたってはもう減衰を見直すという方針を立てじゃあそれでいいのというのを、
0:49:55	もうこれも観測記録がありませんので、モデル全体としてちゃんと確認するという、段取りを踏んでたと、いうものでございます。その辺やったことを、
0:50:08	何となく8ページではブチブチと切りながら何か繋がらないような言い方になってると、今更ながら思いますので、ここ、話の流れと、それにくつつく根拠をしっかりとちょっと取り直して
0:50:22	先に提出させていただきたいと思います。以上でございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:28	あ、規制庁のナグラです。今赤石さんが説明されたことで、
0:50:33	1点だけちょっと質問です。
0:50:38	今回の特徴的なピークの原因は、いえる200メートルでの速度コントラストだと、
0:50:44	多分そうですよと言って、
0:50:47	それで、当然何らかの形で200メートルまでのモデルの妥当性を確認してマースと言っているんですけどなんでじゃあ、
0:50:57	地震計より、
0:50:59	-90メートルのからは2、200メートルまでの間、
0:51:05	ここに何かあると。
0:51:07	何か原因があるというふうに考えてこの値を変更しますって今言ったんですけど、そこの説明がいきなりこう、
0:51:15	出てくるんですけどそれって、ちょっと今、
0:51:17	意味がわからなかったんですが、
0:51:23	九州電力の明石でございます。そこの何かあるというところの根拠これもちょっと正直言うと難しい。難しいっていうとおかしいな。
0:51:36	やっぱりそのP a ウーン。
0:51:39	ここもすみません、いろいろもう取り繕ってもしょうがないので承知です。申し上げます。P S 検層で見た0.5秒のなんじゃこりゃというピーク、これについてはもうちょっと計算上の、
0:51:52	評価条件の問題だったということ突き止めたところございまして、短絡的に考えると、その原因はそこにあったんだからモデルはもう、このままでいいでしょっていう。
0:52:06	話もできるのかなという議論我々の中でもあったんですけどもしかしてもその辺、疑念が生じちゃってるところさらに先ほど、
0:52:16	コントラストはどこにあるのかと、鈴木さんからのご指摘もありましたけども、90メートル季じゃねえや200メートルよりも深いところに行く中でやっぱりどっかでコントラストはあるはずで、やっぱそこで
0:52:30	何か生まれてくる、何か生まれるとおかしいですね、突き止め、我々持ちネタがないところへデータがないところで、何がしかのコントラストが生じているということはあるだろうと。
0:52:43	ということなので、もうここはある意味、当社の判断として、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:50	90 メーターの深いところ、ここに、ここをもうちょっと嵩上げすると、 いうことによって、そういう議論が、議論のあったところに対応するす いませんこれ
0:53:01	ちょっと今しゃべりながらなる炉外ぶりになってませんけども、そこは ちょっと当社の判断として、そこを見直そうというふう考えた、い うものでございます。何かあると考えたという根拠にはなっ てませんけどもちょっと、
0:53:14	正直な、当社内での議論としてはそういった話でございます。
0:53:24	すみません、解釈としては、やっぱりいえる 200 メーターからそれ深い ところっていうのは、
0:53:30	実際にどこまでどういうふうな層厚増加速度構造かっていうことについ て、厳密にこの、今 O G 湾から III っていう地点に関してデータがないの で、
0:53:42	どの深さで実際どういうふうに変化しているかということについては、 わからないと。
0:53:49	そういうこともあって、それよりも朝一の、
0:53:55	原水を代わりにいじって、それでカバーさせるんだっていう考えをとっ たという理解でよろしいんですかね。
0:54:08	九州電力の明石でございます。ご理解の通りでございます。
0:54:20	わかりました。
0:54:22	ただ可能性として、
0:54:25	そういうことでもないのか O G 湾を事実を G III っていうのは、
0:54:30	うん、これって医師的には火、
0:54:34	次、実際の標準音スペクトルリオモデルを設定した位置と、
0:54:41	平均的な位置と次は実折り III っていうのは離れてるんですけどそんなに離 れてはいないですよ。
0:54:54	九州電力の本村でございます。今回の方は 3 ヶ所やっております、一 つは、道草、
0:55:03	ちょっと前回の会合でお示ししてますけども、それぞれちょっと離れた ところにはなります。なので 34 号の炉心位置から、
0:55:13	ちょっと離れたところ、
0:55:20	90 万につきましては、90 万と求人 III につきましては、34 号の炉心位置 から、若干離れたところなんですけども 93 につきましては、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:55:31	34 号の隣に 12 号炉があって、さらにその先の、ちょっとかなり離れたところには、位置関係としては、なっております。
0:56:06	規制庁の名倉です。
0:56:08	何となく、
0:56:11	うん。
0:56:12	例えば O G 湾とかであればもう少し、
0:56:16	1000、1500 と 2100 の間 1550 と 2100 の間に、
0:56:21	標準応答スペクトルをモデルのような、1700 台の小構造っていうか速度が、速度層が、
0:56:30	あるかもしれないし次、筒とか III はそれがもうちょっと深いところにいるかもしれない。特に G III とか離れていて、
0:56:40	ということなのでこれが傾斜してるような構造にも見えなくもないんですけど、
0:56:47	実際そうなるかもしれないけどデータがないから結局わからないっていうことなんですね。
0:56:57	はい九州電力の本村でございます。おっしゃる通り、多少傾斜とかございます。かもしれませんし、ただちょっとやっぱり、さっき西郷おっしゃられた通り、
0:57:07	ちょっとデータがないところでいうところもございまして、なかなかちょっと下の層がどうなってるかっていうところは、ちょっと難しいなというところでございます。
0:57:31	はい規制庁佐口です。
0:57:34	なので、多分ポイントはこの 8 ページっていうのをいかにわかりやすく、文書を含めて、
0:57:42	記載して説明するかって多分、
0:57:45	逆に言うと、マイナス。
0:57:50	そうですね、-90 メーターまでっていうのは当然
0:57:54	地震観測記録の方で、妥当性っていうのはある程度確認ができると。ただし、90 メーターから 200 メーターまでの
0:58:04	妥当性を、じゃあ何をもって確認するかっていうと、おそらく、この P S 検層結果と、これまでのモデルとの比較。
0:58:17	っていうところで、先ほどちょっとその条件を合わせなきゃいけないですよっていうお話をさせていただいたんですけど、それがほぼほぼ同じになればよくておそらく、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:28	-200 メーターのこのコントラストを全部ですね、これ
0:58:33	標準応答スペクトル用のモデルも、
0:58:36	この取り扱ったもので、比較したら多分同じか、場合によっては、P S じゃないわ、標準応答スペクトル。
0:58:46	用のモデルの方が、
0:58:48	増幅率というか伝達関数は、たとえ大きくなるとかですね、多分そうい う話なのかなと。
0:58:56	実は思っていたんですよ。
0:58:58	なので、そういった妥当性は一応確認ができましたというご説明であれ ばわかるんですけど、そういう今説明の資料もないですし、
0:59:09	そこがよくわからなくて、かといって、-200 メーターまでの地盤の減 衰を見直したという、
0:59:17	話ですよ。ここの、もともとその理由というのか根拠と、それから、
0:59:23	4%から3%にしましたっていう、そのやっぱり理由なり根拠っていうの を先ほどのお話だと、いや、実は200 メーターより下っていうのはやっ ぱり、
0:59:35	当然ながらP S 検層法のところでは確認できていないので、私ちょっと 極端な話って言いましたけど、例えば201 メーターに、
0:59:45	そういったコントラストが実は存在してるかもしれない。
0:59:50	202 メーターとか3 メーターとかわからないですけどね。
0:59:53	でも、なんかそういうことも踏まえた上で、やっぱり、じゃあ、
0:59:59	そこ、その、
1:00:02	不確かさじゃないんですけど、
1:00:04	やっぱりそういうことは、本当はやっぱりコントラストってあるのかも しれないって見えてないだけですね、P S 検層で。
1:00:14	ということも踏まえて、じゃあ、
1:00:16	ここを見直しますとかっていう、何かやっぱりその辺りちゃんとです ね、論理構成っていうかロジックもちゃんとわかるような形でこの8 ペ ージっていうのは綺麗に、
1:00:28	説明をしていただければと思いますけど。
1:00:32	よろしいですかねこの8 ページが多分ポイントとなると思いますので、
1:00:38	はい。九州電力の本村でございます。おっしゃる通り8 ページが機能に なるという認識を持ってまして。ここはちょっと先ほど明石も申しまし たけど、物理なんてなかなかこう繋がっていかないと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:52	いうところをですね、ちょっとしっかり、論理構成と根拠ですね、そこから辺ちょっと検討したいところ。
1:00:59	検討していきたいと思ってます。ありがとうございます。
1:01:14	はい。とりあえずまず、玄海の方については、
1:01:18	これちょっとあと2ヶ所だけ教えてもらいたいですけど。
1:01:22	聞いたら30ページの、
1:01:25	2羽の比較なんですけど、
1:01:30	これ先ほどなんかも参考っていうふうに唐突に出てきてて、これ別に、
1:01:36	先ほどの説明機会だと、別に前のページの分古賀津江西方沖とかって言ってこれ同等もしくは上回るといって何か短周期が少し観測記録が、
1:01:47	出っ張ってるところがあって、そういうのもあったんで念のためやってみましたとかそういうことではないわけですね、ただ何か振動性状を適切に表現してるとか、ちょっと何のことを言ってるのかとかですね、或いはこう、
1:02:00	同じ条件で比較してんのかなと思って見てみると、何か地表のE L 11メートルと、地下のE L -15メートルの比較ですと言われると、
1:02:11	これはスペクトルの大小ではないんですかねちょっとの比較ではなくて、正常って書いてあるんでこれ何なのかなとか、ちょっとこのすいませんこのページの、
1:02:21	持ち出した意味というかあとこのページで、何をもってその適切に表現できてると言ってるのかとかですね、この深さの、同じ条件、
1:02:31	ではないんですけどこの違っているのちょっと説明してもらっていいですか。
1:02:36	はい。九州電力の本村です。29ページ30ページ、30ページの参考と書いてますけども、まず29ページにつきましては、赤線と黒線、沼津赤線の方が全紙期待においては同等もしくは上回ると、
1:02:51	いうところは、確認してるというところは、言いたいところではございますけども、ただ、先ほど鈴木さんの方からご指摘ありました福岡県西方沖地震、左の
1:03:03	方のN S方向E W方向につきましては、0.1秒付近で、黒瀬が勝っているところがあるというところがございます、この要因としては何かと。
1:03:14	いうところもちょうと分析をするところがございますけども、どうしてもこの29ページのところでは、E L -17メートルの地中の観測記録、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	それと E L - 17 メーターの大戸は、これ E + F 同士を比較しているところでございます。
1:03:33	何が言いたいかと言いますと、こちらは E + F。
1:03:37	になりますので、F - A 反射は地表からの反射かっていうもの、ものもちょっと含まれてございます。で、この 0.1 秒の観測がかかっているところ、逆に言うと、シミュレーションが上がってこない理由。
1:03:51	なんですけども、こちらについては、地表からの反射はが影響してございまして、伝達関数等を見てもみますと、やはりこの E + F で評価すると。
1:04:03	いうところになりますとやはり反射の影響で、そこだけタニが出てくると、大きなトラフが出てくるというところございまして、なのでそういうところで、
1:04:15	この 29 ページのこの 0.1 秒以外のところは、応答スペクトルの形状としては、まあまあ同じような形をしてるんですけども、0.15 に限っては反射の影響というところでシミュレーションと観測で乖離が出てきてると。
1:04:31	いうところもございまして、30 ページで参考と記載してありますけども、先ほど、
1:04:39	申し上げました通り 29 ページからインフラ政府の f が悪さしてるんじゃないかと。
1:04:44	いうところもございまして、そしたら、そしたらといいますか、基準地震動の評価自体も、解放基盤表面論、任意で
1:04:56	策定するというところもございまして、そしたら任意同士を比較しよう。
1:05:01	いうところで、参考の 30 ページ、示してございます。ただ、観測記録の方で、2 となりますと、地中の観測記録では E + F になりますので地表しかない。
1:05:15	いうところございまして、そういうところで
1:05:18	30 ページの検討としては、観測記録は E L - A S 11 メーターの地表面、
1:05:25	いうところ、それと、応答はにつきましては、解放基盤で人以下を抽出することができますのでそこで吐き出すと。
1:05:37	いうところなんですけども、先ほどちらっと鈴木さん言われてましたけども、片や E L 11 メーター、片や E L - 15 メーターということで、レベル差があると。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:48	いうところで、本当にそここのところで大小関係、
1:05:52	小っちゃかったからいいとかそういう大小関係については、ちょっと論じることは難しいと。
1:05:58	いうふうに思ってます、30 ページの二つの目のポチとしまして、観測記録の振動性状と書いてますけども、こちら、先ほど 29 ページ 890、29 ページでお話しましたけど、
1:06:12	スペクトルの形状ですね。
1:06:14	似たような傾向になっているというところで、観測の形とも似てきてると。
1:06:21	29 ページは反射があって、シミュレーションが上がってこない 0.15 のところもありますけども、任意として見たときに、0.1 秒付近で、こちらの 30 ページの
1:06:32	方では、ちゃんとそこら辺持ち上がってるというところもあります、そういう意味で、参考として示させていただいたというのが、一つ背景としては、そういうところがございます。以上です。
1:06:49	既設のナグラです。
1:06:51	30 ページはちょっと解釈が非常に難しいなあって、今説明していただいたみたいな解釈を取るっていうのは一つの可能性としてはとるかもしれないけれども、
1:07:03	なかなか難しいなと思いました。
1:07:06	というのは、応答はいし - 15 メーターの 2 っていうのは、
1:07:11	26 ページのところのモデルで、解放基盤表面より上の地表面というものは無いものとして、2 位取り出していると思います。一方で、
1:07:23	30 ページの観測記録いえる 11 メーターっていうのは、実際は解放基盤表面の上に地表面があって、競争の視点形成が入っているから、
1:07:34	だからこの赤い方ど 2 をとったら、上回るのは何か当たり前のようになってしまいうんですが私自身感覚として、
1:07:42	ここで言っている、
1:07:45	振動特性が概ね合っているっていうのが、それが何を意味してるのかって言うのもちょっとなかなか、
1:07:53	解釈として難しいなど。
1:07:57	あくまでも
1:08:01	振動性状といったときに、浅部の振動特性による影響は、
1:08:07	ある程度再現してるかもしれないんだけど、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:10	今回議論してるような、200 メーターとかそういうところまで含めてす
1:08:17	振動性状というものが言えてるかどうかってのはなかなか難しくて先ほどもだから観測記録の形がよく似てますね。
1:08:26	ということでは言われているのかなあというふうな印象でしたけど、
1:08:33	それを行ったところで何をせ、それを、29 ページを補ってるのかっていうところの説明がなかなか難しいのでこの参考っていうのは、
1:08:42	ちょっとどういう目的で何を言わんとしてるのかということところがわかりにくいのと、実際にそれが本当に、
1:08:49	入ってるのかどうかっていうのがわからないのでちょっと使い方とか目的と、
1:08:55	主張というものをもっと明確にさせていただかないと、考慮できないのかなというふうにちょっと思いました。
1:09:03	いかがでしょうか。
1:09:07	九州電力の本村です。30 ページについては、ちょっと表が違うところ、任意では比較してるんですけどちょっとやっぱりレベルが違ったりとか、
1:09:17	いうところは、あるかなと思いますんで、本来であれば、任意で比較するとなるとはぎとりとかそういうところになってくるとは思いますけども、なかなか剥ぎ取るっていう行為ですね、観測記録を処理すると。
1:09:32	いうところもちょっと、モデルの造成とかもあるかもしれませんが、なかなかちょっとそこら辺が難しいなというところで、昆会長と甲斐党派については解放基盤の地表がないところですね。
1:09:47	その2で比較したというところではございます。おっしゃる通り表層の影響がE L 11 メーターの観測記録については、あると。
1:09:56	いうところはございますけども、比較的表層が、この地震計があるところは、固い地盤になってまして、このくらいのレベルで線形っていうところまでは、
1:10:08	いかなかなとは思うものの、ご指摘いただいた通りですね、ちょっとなかなか、
1:10:15	これで技術的に問題ないと、いうようなところまではなかなか難しいところではございます。
1:10:21	ちょっとこの30 ページの先ほどおっしゃられた目的と主張の内容ですね、ちょっとそこら辺、整理したいと思います。ありがとうございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:34	はい。
1:10:35	よろしくお願いします。なんでちょっと今の担当になると、いや今2地震だけなんですけど、これ残りの地震もやっていて、何か合わないものがあると、いやこれは表層の、
1:10:45	何か特性が入ってしまったんですっていうのは、何かそんな説明が後から、
1:10:49	加わって、どんどん、このページの使い方というか何か何を主張できるのかっていうところが、
1:10:56	あまりいい文ぼけてしまうのかなというのをすみません、感じました本、このページ何か他に。
1:11:02	ある方いますか。
1:11:06	はい規制庁佐口ですけども。うん。やっぱりこの使い方っていうのか、3、参考なのかどうかわかんないですけど、
1:11:15	やっぱり位置付けがちょっとよくわからないのと、
1:11:18	やっぱり私は個人的には少なくとも、比較するなら同じ条件って、さっきも23ページのところで言いましたけど、
1:11:27	出ないと。
1:11:28	なんか、何を指されたいのかなっていうのが正直よくわからなくて、
1:11:33	本村様からちょっと先ほどお話ありましたけど、
1:11:37	あくまでも解放基盤表面としての地震はっていう、
1:11:43	2はですね、という話であれば当然観測記録を、
1:11:47	このマイナス15メーターのところまで剥ぎ取るべきだと思いますし、逆に、そういった影響もあるでしょうということを、考慮するというか検討するという目的であれば、
1:12:01	逆に言うと応答はというのを、地表面で計算させるというのも、
1:12:06	一つ手かと思いますので、
1:12:08	いずれにしてもちょっと、
1:12:10	比較の対象がそれぞれ、
1:12:13	E L 11メーターとE L -15メーターと違うというのは、
1:12:19	うん、ちょっとどうかなっていうのが正直なところですね、やっぱり比較をするのであれば、
1:12:24	条件は同じにすべきですし、結局それが何を言いたいかっていうだけの話であれば、今のままだもいいのかもしれないんですけど、あくまでも若干そういった、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:37	加工はとか情報消波とかそういう影響、
1:12:41	ていうのはありますよということだけが言いたいのであれば今のままでいいかもしれませんが、だからといって、このレベル感っていうのは、29 ページっていうのは、
1:12:51	当然観測記録そのものと、
1:12:54	実際の応答は、これE + Fですけどねっていう条件があったものとして比較しているので、
1:13:02	観測記録がちょっと大きく出てる部分はありますが、
1:13:07	そこも含めて、今の
1:13:11	3%でしたっけ、で設定するのが妥当なんですよという説明をしていただければそれでいいのかなと。その善し悪しというのは当然ありますけれども、
1:13:22	なのでちょっとこの 30 ページの、
1:13:24	位置付けっていうのはやっぱり明確にするのか。
1:13:28	うんどうかはちょっと。
1:13:32	少し考えていただきたいと思いますが、私個人としてはやっぱり条件が違うものを比較して、
1:13:39	それを並べてどうだと言われても、どうかなっていうところですね。
1:13:44	すいません、コメントみたいになってしまいましたけど以上です。
1:13:50	九州電力の本村です。ご指摘ありがとうございます。
1:13:55	同じ条件っていうのは、
1:13:58	おっしゃる通りで、今回レベルも違いますし、そういうところで比較したっていうところは、ちょっとまずかったなと思ってます。さっきちょっとチラッと地表の話を地表で合わせたらどうかという、そういうところ、
1:14:14	お話ありましたけども、我々地方でもやってまして、当然地表同士で、観測等々は比較するとなると同じ 2 同士ですので、先ほど 29 ページの
1:14:25	シミュレーションで反射の影響があった、0.1 秒のへこみですね、このところはやはり解消されるというところは、確認してまして、ここで言う赤線の応答の方が観測を上回ると、
1:14:38	いうところは、確認してございます。ただちょっとすなわち表面でいいのかっていうところもちょうとありましてちょっとそこら辺 30 ページの、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:14:47	方と、どっちを出すかなってところで、ちょっと悩んでたところ でございますので、ちょっとそこら辺の地表の話とかもですね、
1:14:57	示せると思いますのでちょっと改めて、ちょっとこの二つのページ ですね、ちょっと検討したいと思います。ありがとうございます。
1:15:13	すいません。規制庁の田嶋です。30 ページに関連してどうぞ。1 点 だけ。はい。すみません。
1:15:21	30 ページではないんですけれどもそういういろいろ説明を伺って いると、29 ページの考察というか説明をもう少し、
1:15:33	詳しくされた方が、
1:15:36	30 ページをどうするかは、ある、先ほどまでのお話であるとして、29 ページの方で、こちらにも気になる 0.1 秒辺りの、
1:15:48	その応答はのへこんでる部分というのが、
1:15:51	その議論の方には後半の影響が例えば明瞭に出てるけど観測では何の理 由かわかりませんが、そこまで明確に出てないさいみみたいなのが、
1:16:03	原因ってというのが、もし、
1:16:06	そういうお考えがあるのであれば、きちんとこの 29 ページのこの差 異の説明というのを、出て 1 秒当たりの
1:16:14	ご説明を書かれた方が、
1:16:17	非常にわかりやすいなと思いました。
1:16:22	いかがでしょうか。
1:16:26	はい。九州電力の本村です。ご指摘ありがとうございます。ちょっと そもそもの 29 ページが、ちょっと言葉足らずといいますか、A I I、 そういうところはあったかと思います。ちょっと 0.1 秒の、
1:16:40	大小関係については、田嶋さんがおっしゃる通りに、そういうところ で、冒頭はの方のシミュレーションでは、
1:16:50	にゅは反射の影響というところが如実に出てるんですけども、観測では そういうところが見られないと。
1:16:58	いうところが、この大小関係の理由かと思いますが、ちょっとそこら 辺の記載ぶりについては、ちょっと充実させる方向で検討したいと思います。
1:17:13	院長の田嶋です。はい。お願いします。
1:17:17	もう 1 点ちょっと一つ前のページに戻ってしまうんですけども、コメ ントをしてもよろしいでしょうか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:17:26	28 ページ、8 ページのなんか最初の何て言うんですかね説明の構成というのについて、D O T 前に議論があって8 ページの一番最後のポツの、
1:17:39	モデル全体の妥当性っていう話が
1:17:43	28 ページから始まるんだと思うんですけども、今回やはり地震基盤、その深いところでの観測記録がえられてないというのが、
1:17:56	最終的にこの28 ページの地震基盤相当面での地震、ですかね。ていうのが、ブロックインバージョンのスペクトル分離の結果を使うような形になってまして、
1:18:10	そういうのに頼るしかないっていう状況は、す確かにそうだなあと。
1:18:17	思っています。で、もしそうだ、そういうところが重要になるのであれば、やはりこの28 ページでの、このブロックインバージョンの
1:18:28	結果で今回は、今まで示されていたサイト増幅特性ではなくて、
1:18:34	震源特性と技術の技術伝播経路特性を使って、地震基盤相当面での地震はっていうのを、推定するというところで、
1:18:46	この二つっていうのも、精度が良くなければ、その後の説明にも多分響いてしまう。
1:18:53	大事なところかと思うんですけども、非常にこの部分があっさりしていてちょっと説明が少ないなという気がしています。
1:19:04	一般的に、このブロックインバージョンとかスペクトルインバージョンですと、
1:19:10	震源特性と、あと、今まで資料に示されていた齊藤特性、増幅特性ってのは、分離するときにトレードオフがあるので、
1:19:20	どちらか片っぽでも震源特性でもサイト増幅特性でも、この友沢ほか2021 の、この文献の中で、
1:19:31	やはりどっちでもいいんですけど震源でもサイト増幅特性でも、どっち、この分離がちゃんとうまくいっているんだという前提が、まず根拠として説明があって、
1:19:42	一応その前提に基づいて、この震源特性とか、伝播経路特性を使いますっていう話で、一応このブロックインバージョン自体、
1:19:53	が妥当なものなんだよというのがまず説明がないと、次の話に、
1:20:00	いかないんじゃないかなあとと思ひまして、その辺り文献の方とかでその分離結果の妥当性みたいなものですかね、そういうのとかがもし示されているのであればそういう話も少し入れ、
1:20:13	ないと、ちょっとこう、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:15	何て言うんですかね、本当にこの
1:20:17	地震基盤相当面での地震はってのが妥当なものがそもそも入ってんのって いうそれがもし過大だったりして大きい地震動だったりすれば、
1:20:27	何ですかね、もちろん計算なんか大きかったり小さかったりすると、何か影響が出てしまいそうな気がしますので、例えば、計算に使うこのスペックインバージョンの結果が、
1:20:41	もし過大評価されてたら、
1:20:44	兵頭スペックのモデル使ってた、立ち上げた党派の方がもちろん大きくなってしまったりもしそうなので、やはり基盤はの推定の、
1:20:55	制度、そのもととなるです。
1:20:57	ブロックインバージョンの妥当性みたいなのを、その文献を引用してるだけなんですけれども、一応、丁寧に説明された方がいいような気がします。
1:21:10	いかがでしょうか。
1:21:13	はい。九州電力の本村でございます。28 ページについては、かなりはしょって概要的などころであったかなというところはございます。
1:21:23	田嶋さんがおっしゃられるように土佐他の文献上では、震源と伝播サイトの分離してるわけですけども、そこら辺の妥当性についても、
1:21:33	記載がございまして例えば震源特性につきましては、
1:21:38	オメガスクエアの震源、
1:21:40	スペクトルと合うかとか、そういうところで見積もった短周期レベルとか、比較もしてまして、その短周期部分については既往の知見と変わらないとか、そういうところはあるかと思います。ちょっと足りないところもあるかと思うので、ちょっとそこら辺記載を充実するような方向で、ちょっと考えたいと思います。
1:22:00	以上です。
1:22:06	規制庁の田嶋です。はい、ありがとうございます。その際に、震源スペクトル自体が正しいかってなかなか難しいと思うので、サイトと震源の分離にトレードオフがあるので、
1:22:19	サイト増幅特性の方が、妥当だ、妥当だというのが示されてるっていうのを、
1:22:26	どっかほかがちゃんと
1:22:28	妥当だから、震源も引いては妥当だよねっていうような言い方になってしまうかもしれませんし、その辺りはちょっと、そうですね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:22:38	また、言い方というか説明の仕方は、
1:22:41	いろいろあるかと思しますので、はい。よろしく願いいたします。
1:22:50	電力の本村です。承知いたしました。
1:22:55	はい。田嶋さんありがとうございました。ちょっと私も、なんかこの 28 ページのところ、入力がどのぐらい正確なのかってところが気になったので、ありがとうございました。
1:23:05	限界は
1:23:07	そんなところですかちょっと残りも、川内の方があるので、
1:23:12	川内の方なんですけど、
1:23:17	ちょっとこちらはですね原価はその前回の説明に対して、そもそもの原因、
1:23:24	がどこにあったのかっていう話から入ってるんですけど、
1:23:29	川内はですね。
1:23:31	結局その、
1:23:33	使われている資料ですか、これ 10、19 ページから 9 ページ以降のところって、これ前回の説明と、先ほど上下方向とかですね、
1:23:45	前回隠れてしまってたより短周期側のところとかっていうのが見えるようにはなったんですけど、これ基本的に 1010 ページ使って説明してる。
1:23:55	比較結果ってこれ前回と全く同じものですよその上で、
1:24:00	20 ページもこれ前回の資料からの抜粋になっていて、
1:24:05	実は前回の資料からも読み取れたのですが、
1:24:09	そのどの深さに原因があったかとする 58.5 メートルよりも深いところですよ。
1:24:16	いう説明で、
1:24:18	何か何も新しい説明説明資料というかが、
1:24:23	特にないんですけど、
1:24:25	その上で、何かこの深さをキュウチョウ見直せば、解消されるんですけど解消するんですけどっていう話なんですけど。
1:24:35	それであとは面談の時の P V だと、
1:24:39	今原因の深さわかりましたと。だけど、この方ん。
1:24:45	今だと 21 ページですか。58.5 から -200 のところを、
1:24:51	見直しますと、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:24:53	ある意味、58.5 よりも深いところですけど 200 メートルまでひっくり返して、見直すということなんですけど、
1:25:01	何かそれによって説明がつくというか観測記録との
1:25:06	説明がつくってところの、何か、
1:25:10	ゴールというんですかね、見通しが全くわからないんですよ。それで多分方針をかけても、何か作業してるんですねっていうことにしかならなくて、
1:25:22	その結果、結局は次の 3、2 月の末ぐらいに出てくる資料を見てみないと何とも言えませんねっていう話になるんですけど。
1:25:32	これ本当これ以上何も示しようがないんですかと結果待ちっていう状態なんですかね。これ後々もう友田他のブロックインバージョンの結果、
1:25:41	その時にどのぐらいにするのかわからないんですけど、58.5 から 2 百名 - 200 までの
1:25:48	Q 値を見直したけん詐欺結果。
1:25:51	そうなのかってぐらいしかなくて、
1:25:54	何か全く先が見えないっていうのが、むしろ川内の印象なんですけど、玄海の方は、多少なりとも見通しがありそうな思いで見たんなんですけど、これ本当何もないんですかね。
1:26:06	前回面談の時だともう少し
1:26:09	観測記録の方も少しくまも頭の方の地震は、サイト外のところでも、
1:26:18	ちょっと伝播経路のところ、
1:26:20	影響が出てるんだみたいな、ざっくりとした説明は面談の時にもあったんですけどそういうのも特になくてですね。
1:26:26	ちょっとこの資料で方針をかけて、確かにこの方針でいってじゃあ結果 1 ヶ月ぐらい待ちましょうって、ちょっとそういうか会合にならないと思ってるんですけどいかがですか。
1:26:40	はい。九州電力の本村です。おっしゃる通りですね先日の面談の資料から、あまりこう目新しいところっていうのは、記載がございませんか。
1:26:52	ただ検討は前に進めてございまして、-58.5 メーターから 200 メーターのところの、
1:27:02	減衰についてですね、見直すっていうのは、方針としてありまして、具体的な値についてですね今ちょっと

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:27:12	検討を進めているところでございます。ちょっと具体的な検討内容についてですね、ちょっと口頭だとなかなか伝えきれないところもございまして、
1:27:23	今ですねちょっと現現在の検討状況を説明できるですね資料がちょっとデータとしてありまして、もしよろしければなんですけども、この画面を共有させてもらいながらですね、ちょっとそれに基づいてちょっと、
1:27:39	ご説明させていただく食うことはできますでしょうか。
1:27:44	いかがでしょうか。
1:27:47	あ、ごめんなさい。それは当然ながら説明として伺って、多分今後、説明書に追加する予定のものだと思うんですけど、税理士もここでご説明いただくっていうことは、
1:28:00	当然これだから本日付追加資料提出みたいな形で、それは当然、透明性確保はさせていただくんですけど、よろしいんでしょうね。はい。
1:28:11	はい。そのつもりでございまして今回、今回というか今日画面共有させてもらう資料については、ヒアリング資料として提出させていただこうというふうに考えてございます。
1:28:24	はい。ちょっと今後の説明イメージっていうことなんで、今日のヒアリング資料の追加資料という形の扱いで、一旦はこの場では画面に映していただくと、その上で、
1:28:35	今後、次のヒアリング資料にどう追加していくかっちゃうのはそれはこの後の、
1:28:42	コメントというか、質疑を踏まえて考えてもらえればと思いますけど。
1:28:48	はいこの場だけとりあえずしますっていう話なのでお願いします。
1:28:53	画面の、
1:28:55	写す形にしてもらってもいいと思うんですけど、今、最後にちょっと立ち上げます。はい。少々お待ちくださいマース準備できたら、そのまま説明入ってください。
1:29:04	はい。
1:29:20	あ、九州電力の本村です今共有させていただきましたけども、ご覧いただけますでしょうか。
1:29:29	ちょっと待ってもらっていいですか。多分こっちだといまだに。
1:29:36	資料共有モードになってますかね。こっちだといまだに画面4分割でそれぞれの4地点が、
1:29:44	写ってるだけなんですけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:51	ちょっとお待ちください。
1:30:00	ちょっと待ってください。出まして出ました今ね検討。
1:30:04	今何だこれは、今、
1:30:07	猪狩さんに、
1:30:10	ブロックインバージョンの検討状況と同じページが映ってますけど、はい。はい。このページ、
1:30:17	移ってますかね。この内容についてこのページについては、先ほどと変わりませんが、ちょっと次のページで、
1:30:24	今現状、こちら、現行の地下構造モデルになりますけどもこちら、E L -200 メーターから、上のところの、
1:30:36	火打は 12.5 という、今の現行のモデルで、
1:30:41	検討しつつ、さらにちょっとこら辺の 58.5 から 200 メーターの減衰を変えながら、検討を進めているところでございますんで、ちょっと
1:30:51	すいません今、この九州電力の明石でございます今ご覧いただいてルー画面、前ページの検討には以下の地下構造モデルを使用するって書いてますけども、
1:31:03	これ我々今どういう検討をやってるかといいますと、けつからさかのぼってきてるようなイメージなんですけどもまずは、
1:31:12	全体としてそもそも今のモデルで観測記録のカバー状況がどうなってるのかと、いうのをまず見てみるべく、Q値は見直さないままでここでいうと 12.54%のまま、
1:31:27	先ほどの友田他で震源からたどってきた結果と観測記録等を重ねてみて、どういう状況になってるのか、観測というか手応えとかを、まずは見てみているという状況ですまずはその状況をご紹介しますいただきます。
1:31:41	引地。
1:31:43	はい。本村です。検討状況について、次のページ以降で説明しますがこのモデルを使ってちょっと今、
1:31:53	検討を進めているというところでございます次のページちょっといただいて、
1:31:57	塘さん他のブロックインバージョン結果についてなんですけども、今まで観測記録の応答スペクトルの確認というところで、20 地震、
1:32:09	やってた、やってたと思いますけども、このうちですね、ともさ他のブロックインバージョンで検討対象にしたものが、15 地震ありまして、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:32:19	グレーハッチで、
1:32:23	記載してるものにつきましては、土佐ほかの検討対象外というところで、残る 15 地震について検討を実施してございます。
1:32:33	次のページが、
1:32:35	4 ページ以降になりますけども、これがこれ以降 15 地震の応答スペクトルのシミュレーション。
1:32:43	その結果を示してございます。このページにつきましては 3 番と 4 番 5 番 6 番というところで、ちょっと 4 番のところで観測記録、
1:32:53	が、応答ハウスはマーケットというのが、ちょっと見えますけどもそれ以外の地震については赤のシミュレーションというか、応答はかかっている。
1:33:03	いうところで、4 番の時、理由につきましては、ちょっと後程ご説明します。
1:33:10	次のページっていただきまして、
1:33:13	古閑 7 番 8 番、9 番 10 番と、
1:33:16	いうところで、この 4 地震につきましては、概ね赤線の方が、同等もしくは上回ると、というような結果になってございます。
1:33:28	続いて、
1:33:30	6 ページになりますけども、
1:33:33	こちら、11 番 13 番 14 番 15 番と、
1:33:37	いうところで、こちらのページにつきましても、赤線の応答は観測記録を、と同等もしくは上回る、
1:33:46	というような結果になってございます。
1:33:49	次のページっていただきまして、今度が 18 番 19 番 25 というところで、金。
1:33:57	今度は 19 番については、先ほどの 4 番の地震のように、黒瀬の方が上回るというところで、
1:34:05	残る 18 については赤線と同等、赤選択路線が同等もしくは、は、赤線の方が上回る。
1:34:14	というようなところになってます。で、先ほどの 4 番の地震とこのページの 19 番の観測が、
1:34:22	シミュレーションより大きいというところで、その理由について、
1:34:27	ご説明しますけども、8 ページ目になります。こちらが二つの地震ですね、4 番と 19 番について、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:34:37	観測記録を計算で割った残差みたいなものを、
1:34:41	の空間分布ということで、四角が川内サイトになりますけどもそれ以外の観測点を踏まえて、その傾向の偏りっていうのがあるのかないのかっていうのを、分析したのがこのページになります。
1:34:55	左の方が4番の鹿児島県北西部地震、それと右側が19番の熊本県熊本地震、
1:35:02	なりますけども、
1:35:04	それぞれ4、
1:35:06	四つにですね、周波数体を分けて、
1:35:09	その残差の傾向というのを見てます。
1:35:12	左上の方から1ヶ月、その他の皆さんヘルツで下に行きまして5並立実行率と、
1:35:18	というようなところで残差の傾向を見てますんで、左の方になりますけども3Hzのところ、
1:35:27	なりますけども、ちょっと見にくいかもしれませんが震源球がある、下の方が、川内サイトの四角になりますけども、
1:35:34	この地震については、南の方に赤いところが多いというところで下に凡例つけてますけども、観測の方が大きいと。
1:35:44	いうところで、そのところにつきましては、破壊伝播効果の影響を考えられると。
1:35:51	いうふうに思ってます。
1:35:53	なかなかブロックインバージョンでは震源で破壊伝播効果っていうのが、なかなか交流できないと。
1:36:00	いうところもありまして、そこら辺の
1:36:03	Aブロックインバージョンの震源特性では、カバーできてない、破壊伝播効果っていうのが、
1:36:08	この地震には見られたのかなというふうに考えてます。一方、19番の地震につきましても、
1:36:16	これ津波と地震のところですけど、1ヶ月でも3Hzでもですね。
1:36:21	川内タイプの方で赤いところが目立つと。
1:36:27	いうところで、赤いということは、観測が大きいというところになりますんで、ここにつきましても破壊伝播効果の影響が、
1:36:36	あるんじゃないかと。
1:36:38	いうふうに判断しているものでございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:36:42	15 地震中、実地震で、
1:36:48	観測とお父さんを比べると観測が大きいと。
1:36:52	というようなものが見られるんですけども、9 ページとっていただきまして、
1:36:59	左の方がN S方向、右の方がE W方向で、
1:37:03	先ほどの観測と大戸は、観測記録と応答はの応答スペクトルの残差を今度とって見たと。
1:37:11	観測記録を応答はで終わるといような残差を示してまして、
1:37:16	ますので、これで1を上回るといところになりますと、観測の方が大きいと。
1:37:23	いことになります。
1:37:25	この二つの図、N S方向E W方向を見ますと、赤線が、
1:37:31	山の全地震が平均になりますけども、これを見ると一応概ね下回っているといところもありまして、反訴食う記録が大きい地震が二つありますけども、総じてこう、
1:37:45	全体を見てみますと、こいう結果で、残渣としては研究とか0.8とか、こいうレベルになってますので、現状のその4%モデルでも、ある程度、
1:37:59	その観測をカバーできてるかなってこうふうには思ってます。ただ、58.5 メーターより以深ですすね、
1:38:09	やっぱり0.10と0.2秒といところを浅いところ、
1:38:13	計画があるってこ事実がありますので、ちょっとこいう、こいうった検討ですすね、
1:38:20	Q値を変えながら、どのこらいの減衰が妥当かといところを、今、検討を進めているところでございます。
1:38:30	検討状況については、以上でございます。
1:38:40	うーん。はい。はい。すいません。これは後々ヒアリングの
1:38:47	追加説明ってこでまだ今の検討段階のもんでしょうけれども、
1:38:52	これ、
1:38:53	この今回今画面に映していただいとこで観測記録と応答版の比較出てましたけど、
1:39:00	これは、
1:39:01	その時に肥料の見方としては、今回もとももらってた10ページからの前回の会合で出てるやつですすね、この観測記録E L-18.5と。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:39:14	今画面に映ってる方の観測記録 E L - 18.5 というのは、これ同じなんですよね。
1:39:20	応答はの方が、
1:39:25	党派の方が、
1:39:28	そもそもどこからか、観測記録入れて、
1:39:33	マイナス、解放基盤表面が解放基盤表面のマイナス 18.5 で応答させたか。
1:39:39	今回は、今画面に映し今回画面に移されてる方は、
1:39:43	これはブロックインバージョンなんで地震基盤相当面に、
1:39:47	入れたものを、
1:39:49	E L - 18.5 で応答させたので、党派の方は違いますと。
1:39:54	今後その説明としては、
1:39:57	今のご説明だと、観測記録との比較をしていた前回の説明ですよね。そこでねコンマ 1 からコンマ 2 のところが上回ってと。
1:40:07	というのは、どの深さに影響があるかの説明には使うけれども、
1:40:12	地下構造モデルを見直した結果最後、地下構造モデルというか
1:40:19	地震計のある深さまでも含めてですけど、地震計深さまで含めての、
1:40:25	深さまでの妥当性っていうのは説明しないで、もう一気にブロックインバージョンの結果で、
1:40:35	最後出します王道の日ですよダンサーで説明すると、そういう考えなんですか。
1:40:45	九州電力の明石でございます。今ちょっと生の検討状況として今、画面共有させていただきまして、どういう全体説明しようとしてるのかっていう、
1:40:56	流れになってませんのでこれまたわかりにくかったかと思います。今現状資料の説明でも、これまでの会合資料を引用しながら、58.5 メートル、ウーよりも深いところに何かあると。
1:41:10	で、何かあってそこから出すべきことはまずは 58.5 よりも深いところに 100 メーターまでのモデルなりを、何がしか、見直して、そこで観測記録と合わせにかかるとというのが 1 番手になると思います。
1:41:26	ただ、そこについてはこれもこれまでのヒアリングの中から皆でもちらっとお話したかと思いますが、その、もう我々速度構造はいじらないという判断をしておりますので、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:41:38	であるとそこの減衰これをどれだけ見直しても軸ももう 200 メーターまでの、
1:41:48	何ぼというにごめんなさい、陣形の 118.5 メートルですねそのまでの範囲で、減衰を見直すことによって観測記録と合わせ込むというのはこれはもう、
1:41:59	非常に難しいというかも無理だと。
1:42:03	いうことが、掴めておりますので、じゃあどうするというので、これも何かさっきの玄海と似たような話になりますけども、
1:42:13	結局、モデル全体トータルで、こういうコンマ 1 秒の大手込み引っ込みをカバーすると、それができ得るモデルであるということを、を示さねばならないと。
1:42:25	いうことで、今画面強度を示しましたような一つ一つの地震について、戸澤ほかで震源からたどってきた結果を、
1:42:35	観測記録と見比べることによって、カバーできてるかどうかという確認をしていこうというのを今やっているとごさいます。
1:42:47	で、今日この場でお示したのはまずは、今現状としてどんな感じなのっていう掴むために、
1:42:56	モデルは見直さないままにどんな感じなのっていうのを見てみたんですけども、例えば今画面共有させていただいております通り、
1:43:07	これ平均全地震の平均の比較でありますけども、現状のモデルでも、概ねカバーできてるような結果になっておりまして、
1:43:17	これ、正直なところ申し上げます。そういう状況なのに、じゃ何%だったらいいのと、どうすると言えば見直さなくてもいいんじゃないって話にも、
1:43:27	なり得るところではあるんですけど我々、ただ、事実として 58.5 メートルよりも深いところに何かあって、さらに我々当社の判断として、そこを見直すと。
1:43:38	いう判断をしておりますので、見直した結果、どうなるのかということをお示ししていかなきゃいけないんですけども、
1:43:45	現状でもほぼカバーできてるようなところをどう見直して、
1:43:50	何%だと、どうなんですという説明をどうしていくかというところを今すいませんまさにここ、最終的な論理構成として、頭を悩ませながら今ちょっと検討していると。
1:44:03	いう現状でごさいます。で、資料でお示したかった。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:44:09	のは、曲げ、
1:44:11	感触というか手応えといたしますか、もっと我々が今方針を立ててる検討の結果それでももうどうにもこうにもカバーできないという話にはもうならないであろうと。
1:44:21	いう手応えはえられてるってあとはちょっとその、まさに論理構成と根拠づけのところを、まだ整理をちょっと重ねてるところでそういう途上にありますと、
1:44:33	いうところをご説明したかったというところでございます。以上でございます。
1:44:39	規制庁の名倉です。
1:44:44	平均的な特性を見て、これでいいんじゃないかって言われてるんだけど、あの二つの地震の扱いはどうされるんですか。
1:44:56	無視するってわけじゃないですよ。
1:44:59	九州電力の明石でございます。平均で見えてみるのも、一つの見方というとおかしいですけども、一つの見方で
1:45:12	我々検討し今素材を準備してるところなんですけど、要は先ほどの破壊伝播効果がかかなり如実に出てる二つの地震。
1:45:22	今菅が考え方としては、
1:45:25	それを除いて見てみるという考え方もあるでしょうし、と言いながらやっぱりそういう場合もあれば逆に言うと、破壊伝播効果がプラスに出る場合とマイナスに出る場合もあってやっぱり、
1:45:36	地震ごとにそれぞれあるので、やっぱそういう場合があることを踏まえると、いろんなものを取り損取り混ぜて平均で見えてみるというのも一つの考え方かなというふうに考えております。
1:45:47	あとは、あとはというとおかしいですけども、我々としてどういった説明を、どういう論理構成で、
1:45:55	続けていくのかというのが、すいませんここもまだちょっと整ってないところでございますけども現状ちょっと我々が手元でいろいろ検討を重ねているネタとしてちょっと、すいませんこの、
1:46:07	平均での見方というのをちょっと、一つとしてご提示させていただいたと、いうものでございます。
1:46:13	すいませんちょっと回答になってないかもしれませんが、以上です。規制庁の名倉です。今野へ行くと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:46:20	よくわからないし、おそらく平行線になるので、二つの地震の扱いというか、見解というかそれをちゃんと明らかにしていただいた上で、
1:46:33	どういうふうに見るかっていうのを、説明していただきたいと思います。
1:46:38	平均で見ればいいじゃその二つはじゃどうすんの。
1:46:44	それは見なくていいの。
1:46:47	そういう見方あって、今までの説明と同じで概ねっていうところか何かで、
1:46:54	曖昧な説明してるのとあんまり変わらないような気がするんですけど、そういったところも含めて、
1:47:01	ちょっとよくわからないですね。
1:47:03	多分論点になるでしょうね。
1:47:10	はい。九州電力の明石でございます。まさにその2F田崎の二つの地震の扱い、何でそうなってるのっていうのとどう解釈するのでどう判断するのというところ。
1:47:22	これをきっちりご説明しなきゃいけないと考えておりますので、ちょっと引き続きちょっといろいろ準備を重ねて参ります。
1:47:30	はい。以上でございます。
1:47:32	はい。水ありがとうございます。すいません机上スズキですけど、ちょっとすいません。全部で9ページあるのかな。これ1ページ目からごめんなさい授業ずつぐらい映してもらっていいですか。
1:47:44	どこだろうな。
1:47:47	はい。じゃ次よければ次って言いますね。これは同じなんで次で、
1:47:52	ここもいいんだ。次。
1:47:56	は、はい。
1:47:58	このページで、これは登坂の対象外になってるものっていうのはじいてるんで、そういう意味でいうとこれ限界も、玄海の方は何かもともと19あったのかな19のうち、
1:48:11	と同じように幾つかはじかれて、10幾つ何時真価が残るってことですね、これこの間面談で実は15ってのはこのことですか。わかりました。
1:48:23	本村です。九州電力の本村です。玄海の方もですね、やはりこういうグレーハッチの対象外のやつがありまして、もともと19地震でしたけども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:48:33	川内と同じ 15、数字は一緒なんですけど 15 地震になります。
1:48:47	あれ②が確か、
1:48:50	野間鹿児島県北西部が、これはもともとその
1:48:54	0.10、2 秒の話ではなくてもともとその観測記録で特異な結果がやられたって説明した地震ですよ②は、それが抜けたわけですか。
1:49:05	九州電力の本村です②の方、先輩の丸には、おっしゃる通り、特異な地震としてちょっと扱っていたものです。はい。
1:49:16	丹で 15 だ玄海も 15 がブロックインバージョンの結果の検討の対象になりますと。
1:49:27	いや、
1:49:34	ごめんなさいところの対象と対象外っていうのは、これ何か理由書いてあるんですか。
1:49:40	別に年度でもなんないですよ。
1:49:43	マグニチュード。
1:49:45	九州電力の本村です。もともと 20 地震というのは、M5.4 以上の地震、かつ、200 キロ以内の地震だったと思うんだったんですけども、
1:49:57	友沢さんの検討については、野口の 5.5 以上という、古井でちょっと各県検討の方は、やってまして、
1:50:08	なので、こちらの 12 番 16 番 17 番っていうのは、地震規模を古井で映されていると、対象外になってると。
1:50:17	一方①②につきましては、1984 年とか 1994 年というところで、なかなかこの当時、K-NET も効くネットもないというところで、川内のサイトに記録はありますけど、そこら辺の観測記録数は足りており、おりませんで、
1:50:34	なかなかブロックインバージョンできないというところで、そういうところで①②は、塘さんほかの検討では対象外になっていると。
1:50:41	ということでございます。ちょっと記載はちょっと書いてないので、はい。あれですけど。はい。
1:50:48	これともさ他で、その友沢さんが検討対象外にしてるって意味ですよこれ九州電力が出ないですよ。
1:50:56	そうです土佐他の論文上の扱いでこの五つの地震というのは検討対象外っていうか、はい、既設のナグラです。
1:51:06	もともと問題があるとされた観測記録。
1:51:10	ではあるので、友沢ほかで表。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:51:13	できないからといって除外できるものじゃないと思うんですけどそこら辺はどう説明されるんですか、この②に関して。
1:51:21	説明はこれでもうともさ他で、
1:51:24	用いれないのでもう使えませんかこれはもういいですよって話じゃないですよ。
1:51:30	今までここに課題がありますよねって言った河崎6を、ただ単に対象じゃないからって理由だけで除外できるんですか他のんか別の検討をして県、
1:51:42	何らかの形で説明しないといけないんじゃないですか。
1:51:59	すいません九州電力の明石でございます。戸澤ほかの対象外だからというか、これ実態としては結局その当座他のブロックインバージョンによって、
1:52:12	震源特性伝播特性さらにサイト増幅特性のサイト増幅特性とか、震源特性伝播特性が、
1:52:24	求められていない、地震になっちゃってますので、
1:52:30	ちょっとそもそも我々がちょっと特異な記録だとし、除外してたところとちょっと重なっちゃってて、何か都合よく除外してるようにもう見えちゃうところあるんですけどただこれ、
1:52:41	富沢さんの論文の中で、震源特性等伝播特性が求められてないので、今回やってるような震源からたどってきて、
1:52:54	比較をするという説明はすいませんナグラで説明はできないのはわかるんですけど、できないままでいいの。
1:53:07	できないままで、そのままうこれは素通りしていいんですかってもとここに超えていますよねっていうふうな話をしたのものに関して、何も説明がないまま、
1:53:18	これは友田ほかで説明します。その時に友田さん対象にしてないので、これについてはもう除外していいですよ。何も説明しなくていいですよ。
1:53:30	と言われても、
1:53:32	本当にそれでいいの。
1:53:35	地震規模って言っても5.7とか、距離も40キロぐらいそんなに遠くもないし、
1:53:42	あまりその特異性があるという、記録でもないですよ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:53:48	ただ単に、友田他のブロックインバージョンで結果が、震源特性とか示されて示されないから、
1:53:56	これについては説明しなくてもいいっていうわけではないですよ。ということはそもそも友田他で、
1:54:01	深部からの特性で比較するっていう方針ではカバーできない。
1:54:07	観測記録だっていうことだけですよね。
1:54:11	それどうすんのっていうのは依然として課題残りますよね。
1:54:18	はい。九州電力の明石でございますご指摘の趣旨、理解いたしました。どうするのというところすいません今この場でちょっと答えが準備して準備できておりませんが、
1:54:28	どうするのというところがご説明できるようにすいません検討いたします。
1:54:34	以上です。
1:54:37	はい。一応主問題の趣旨は伝わったかと思えますので、じゃあ、次のページですか。
1:54:47	ここからワー観測記録なんでこの4枚飛ばしてもらっていいですかね。
1:54:54	4567、8ページ目を出してもらおうのかな。
1:54:59	これと、
1:55:01	4と18は、
1:55:05	これだから発電所周辺を、
1:55:10	含む領域で、
1:55:13	がちょっと色がね、わかんないじゃん。
1:55:17	発電所を含む領域が、
1:55:20	赤ってことですかね。
1:55:22	赤の領域なので、観測が大きく出ています。
1:55:32	という逆になると、発電所側で小さくできるやつもあるわけですねこれ。
1:55:37	ていうところはこれまだ検討の例示なんでいや発電所に不利に働いたところは今こう二つ出てるんですけど、
1:55:45	そうじゃないもの。
1:55:50	ていうのももちろんあるわけですよ。逆に言うと現場はいどうぞ。
1:55:55	すいません。さっき明石がチラッと話した通りですね、こういう破壊伝播の効果がプラスに出るなど、マイナスに出るなんていうのは当然あるので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:56:05	そういったところは、あるかなというふうに思ってます。
1:56:11	はい。
1:56:13	そういう意味で言うと、今これ川内の検討なんですけど、玄海の方の場合もしかしたらその不利に働いているものと、発電所外で小さく働いているものと、
1:56:23	いうのはあるわけですよ。
1:56:25	そこら辺ってちゃんと考慮されるのかな。何もしなければ、これ多分、大きく出ちゃったんでしょうがないんですって説明には使ってるんですけど、何もしないと。
1:56:37	赤の赤い領域が多い領域だったとしてもそれは特に考慮されずに、最後段差とか比較に使われるんですよ。
1:56:50	九州電力の本村です。今現状ちょっと最後のページで示した平均。
1:56:56	残渣ですね、それについてはもう、
1:56:59	プラス側に出るもの－欄に出るものも含めた形で、総じてっていうところで進めてますけども、ちょっとそこら辺のふり分けといいますか、プラスに出てるもの、マイナスに出ているもの、ちょっと
1:57:15	そこら辺の分析がまだちょっと具体的にちょっとできてないというところは、正直なところでございます。
1:57:22	はい。ちょっと限界の方でもあったんですけど、結局ブロックインバージョンの結果で全体説明するって言っても、やっぱり地震基盤のところにどれだけのものが入っていて、
1:57:34	いや何か間違った入力と間違った地下構造モデルだけど、何か答え合わせしてみたら、観測記録とほぼ一緒でしたっていうんじゃ検討にならないので、ちょっとそこら辺わかるように、
1:57:45	説明をしてくださいということですのでこれあと、この後の9ページなんです、
1:57:50	とりあえず今のところ、出てる考えている資料検討段階だと思いますけど、資料としては以上ということですね。
1:57:57	わかりました。
1:57:59	少し、
1:58:01	多分画面に映してやって表紙が特になかったんですけどちょっと表紙付ける時には、検討中のものということです、
1:58:08	追加の資料ということで出してくださいと。
1:58:12	今日、他この今画面に出てるもので何か聞いておきたいというのが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:58:19	ある方おられますか。
1:58:28	タジマです。
1:58:30	今のこの掲示に関連してちょっと話題に挙がった関係で、
1:58:36	こういうものですかねっていう確認をしたいんですけども、何かこの破壊伝播効果ってのがあるから、それぞれの地点で同じ地震でも、
1:58:47	こうなんですかね対象関係が。
1:58:50	変わってきてしまいますよというのがあるということは、
1:58:57	それはスペクトルインバージョンで、何て言うんですかね、ある地震に対して、複数の観測点のDたとかを使って求めた平均的な
1:59:09	震源特性みたいなのを求めている場合は、そもそもこういう赤い電波特性は表現できませんっていうのがもう前提なのであるならば、
1:59:19	そのスペクトルインバージョンで、例えばこのある地震に対して今だと、いろんな監査、ここの個別の地点の記録で、
1:59:30	結果を比較してますけれども、
1:59:33	スペクトルインバージョンで例えばある1個の地震、今例えば19番の地震に対して、
1:59:41	普通の地点の記録があるのであれば、結局は何かそ、そういう特性の、
1:59:49	何かいろんなところでとれた平均的な震源特性ですかねその辺は開田%効果も平均的な、
1:59:59	ものが載っているものしか、
2:00:03	スペクトルインバージョンから出ないという前提のもと、どう比較するのかっていうのが結構難しい問題だなと思ひまして、
2:00:14	なのでその辺の考え方とか前提みたいなのを整理されて、
2:00:19	例えば、破壊伝播効果がな、あまりないですよ、確実にもしいえるようなところがあるならそこで比較する、そこだけで逆に比較すべきですし、
2:00:29	そういう切り分けも難しいんだったら、
2:00:32	どうに比較したら、対等に比較できるのかみたいな考え方の整理みたいなのをしないと、非常に、何て言うんですかね。
2:00:42	たまたま
2:00:46	小さくなるので大きくなるの割合で、平均が、
2:00:49	どっちになるっていう話になってしまうと思いますので、ちょっとその辺の、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:00:54	前提となる考え方みたいなのを整理されないと、こういう話が出てきちゃうと、先ほどの玄海の話、それはちょっとどう解釈していいかということになってしまいますので、
2:01:08	そうですね。考えた方がいいのかなと思いました。ちょっとコメントみたいな感じになってしまいましたが以上です。
2:01:19	九州電力の本村です。すいませんコメントありがとうございます。おっしゃる通りですね、なかなかスペクトルインバージョンという手法で、
2:01:28	破壊伝播効果が考慮できないというところで、観測点によって大きく出るところを小さくできるところ、当然ございますけども、そういうのを複数見てですね、
2:01:38	平均的な震源特性、すべての
2:01:41	観測点においてすべてが説明できるかっていうとそうじゃなくて、そういう大小関係、大きいものもあれば小さいものがあるので、平均的なところで、震源特性を決めてるっていうところ。
2:01:53	がありまして、これについて個別の地震で特定サイトで、こういった震源伝播をかけて、評価していくというところは、なかなか難しいところがあるのかなというふうにはちょっと思っ
2:02:07	てはいます。ただ、震源伝播の方については土佐岡で整理できると思いますので、ちょっとそこら辺の
2:02:18	前提条件っておっしゃられてましたけども、そこら辺のところを、まずはちょっと
2:02:24	記載して、
2:02:26	いくのかなというふうにずっと考えているところです。ありがとうございます。
2:02:34	はい。このページも限られ、検討中ということなんですけど、また以後その扱いですよねどう扱っていくのかっていうのはきちんと考え方を整理してください。そうしないと、
2:02:45	土佐他で対象にしてません。いやこれはですねちょっとこういう影響を受けて破壊伝播効果の影響受けてるんですけどなんかたまに見の顔見たら最後何も残らなくなって、じゃ何の説明に、図が成立してませんかかってならないようにしてくださいと。
2:03:00	思います。他はこの辺の追加でのもので何かありますか。
2:03:07	規制庁佐口ですけども。
2:03:10	ごめんなさい。ちょっと事実か関係だけなんですけど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:03:15	私も当然友沢ほかは見させていただきましたけど、
2:03:23	事実関係だけで、これって、友沢ほか、
2:03:27	の計算結果をそのまま、
2:03:31	要は流用されているのか、それとも、
2:03:34	あくまでも手法としては友沢ほかなんですけれども、
2:03:38	計算自体は、
2:03:42	御社が御社が直接されているのか委託に預けてるのは別として、
2:03:48	解析し直したもののなのか、っていうのをちょっと教えてください。
2:03:59	九州電力の本村です。土佐ほかの検討は当然土佐さんにやってもらって ましてこちらのですね残差を計算してもらったりっていうのも、
2:04:09	友沢さんご本人にやってもらってまして、
2:04:15	論文中に細かいところのデータとか出てるかっていうとそうではないん ですけど、論文で計算した結果をそのままですね、戸沢さんの方で計算 して、こういった残差だとかさっきの、
2:04:28	受信機場はですね、そういうところは、友沢さんのところで計算をして もらってるっていうところでございます回答になってますでしょうか。
2:04:40	はい規制庁佐口ですありがとうございます。何でかっていうとです ね、
2:04:45	結局、塘様からのこの論文ですよ論文ベースに考えると、何もこれっ て、川内とか、玄海、
2:04:56	というものをメインに、
2:04:59	ていうか対象にされているわけではなくて、
2:05:03	要はその九州のある程度全域を対象とされてやったものであって、
2:05:10	それで、いや、何が言いたいかっていうと、結局これって、
2:05:15	スペクトルインバージョンなので、
2:05:19	いわゆる基準点ですよ、基準となる地点によって、当然、
2:05:24	変わってくると思うんですよって、そうすると、例えば本当に、
2:05:30	このナンバー、
2:05:32	19ですよ。19の地震で、
2:05:35	基準点とするところが本当にここでよかったのか、もっと実は、
2:05:40	他に、特に川内なら川内に、
2:05:43	できるだけ近いところで、
2:05:45	もうちょっと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:05:48	基準となるような点があったのかなかったのかということを考えれば実はあったかもしれないでそれを、
2:05:57	基準にして考えれば、実はこの破壊伝播効果っていうのは、
2:06:01	川内付近も含めてですよ。
2:06:04	ていうのは、きちんと取り込まれていた可能性もあるんじゃないかなと。
2:06:09	チラッと思って、だから単純に、
2:06:12	基準となるのが、これ、何か進み、
2:06:16	どっちでしたっけ、すごく見南野観測点か何か。
2:06:21	じゃないですか川内からかなり遠いような、
2:06:25	論文中の中では多分そうだったと思うんですけど、
2:06:28	そうすると実は、
2:06:30	むしろ鹿児島県じゃなくても、
2:06:33	熊本県のところで何かいいところがあれば別ですけどね。ていうのを基準に点にするっていうのも一つ手だったのかなと実は思ったんですけど。
2:06:42	何かそういう影響みたいなのって、
2:06:45	ないんでしたっけあるんでしたっけっていう、ちょっとそこを確認させてください。
2:06:51	警視連絡のモトムラです。確かにおっしゃる通りですね九州全域で、今回、ブロックインバージョンということをやってみて、九州地方のK1cネットの地震基盤と扱えるような、観測点を探した時にですね、
2:07:08	確か、鹿児島県の、さっきおっしゃられたところと、あと、大分だったですかね、ちょっとその、広域にわたるっていうところもあって、2地点を基準点としてると。
2:07:20	確かに川内周辺にですね、地震基盤相当の硬い岩盤があるところ、観測点があればですね、基準点っていうのを、そこに使うと。
2:07:31	そこを使うっていうところも選択肢としてはあったんですけども実際実情ちょっと川内周辺に限って近いところであるかということとそうでもちょっとないところもあって、ちょっと
2:07:43	今、おっしゃる通り離れてますけども、そのところに基準点を設けているという、ちょっと事実関係としては、
2:07:50	以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:07:54	はい、規制庁サービスわかりましたなので、ちょっと基準点としてどうかっていう、そういう問題も実はあったと。私だから
2:08:03	会合も含めて、大友澤他、
2:08:06	この方法自体をもう否定するものではないし、
2:08:10	この方法はこの方法でいいと思ってますけど、
2:08:13	ちょっと本当に今の使い方がよかったのかなっていうところははてなマークだったのでっていうので、
2:08:20	いくつかコメントとかもしてますけど、だからそういう影響も当然入っているんで、
2:08:27	この観測記録を使うのがいいのか悪いのか逆に言うと、
2:08:32	当然だからといって、実際にこれ起こった地震で、観測記録もえられている話なので、全くそれを無視してっていう話でもやっぱり、
2:08:42	それはそれでおかしな話になるので、ちょっとそのあたりですね。
2:08:46	そのロジック含めてやっぱりいろいろと整理されるのかっていうのは少し検討していただいて、
2:08:53	最終的にどう、どう示すのかっていうのをやっぱりもう少し考えていただきたいと思いますんで、よろしくをお願いします。
2:09:03	州電力の本村です。今のご指摘踏まえてちょっと説明のしぶりと、論理構成ですね、しっかりしたいと思います。ありがとうございます。
2:09:20	規制庁の名倉です。ちょっと率直に聞きますけど、
2:09:24	このページで19の⑱の地震に関してこのような、
2:09:31	破壊伝播効果の影響が確認されるということであれば、今のちょっとサグチの議論も踏まえると、
2:09:39	すいません率直に聞くと16とか、
2:09:43	17についても同じようなこれ傾向になっている可能性はありますか。
2:10:12	九州電力の本村でございます。1067についてですけど、ちょっと対象外になってるっていうところもあって、ちょっとこういう残差っていうところは、ちょっと見てとれないんですけども、
2:10:25	ちょっとぱらぱらと見てみますと、これ熊本地震のユーシンですけども、余震で、同じぐらいの規模で見ても、こういう破壊伝播効果がありそうなものもないものっていうのはちょっとあるかなというふうには感触として思ってますけども。
2:10:43	ちょっとなかなかその16と17について、今、同じような配電と効果があるかどうかっていうのがちょっとなかなか、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:10:52	話がちょっとできない状況ではあるんですけども。はい。以上です。
2:10:59	わかりました対象外にされてるんですね。
2:11:03	やはり、
2:11:06	おそらく 0.1 秒から 0.2 秒ぐらいのところの E W 方向に少し、
2:11:11	特徴的なピークが出てるって意味では、
2:11:14	同じような性質を持った波なのかなという気がちょっとしているので、
2:11:21	ちょっと聞いてみた限りですけどこれは対象外にしてるってことですね。はい、わかりました。
2:11:28	わかりましたというか事実だけは確認しました。
2:11:51	はい。
2:11:51	追加で映していただいているものはこんな場合にして、
2:11:57	制度川内の方はこの幅に見直していただく必要があるんですけど 8 ページ目のところ 2、資料の事前にもらってる資料ですね。
2:12:06	とっていただいて、
2:12:08	やっぱりこっちもですね、この 8 ページ目がどれだけきちんとその考え方とか論理がまとまってるかっていうのが、重要になってくるんですけど。
2:12:17	ここも 20 ページ参照と、2 個目のポツですね。
2:12:21	でも、1 個目のポツはもう、ただの前回指摘されたファクトで、2 個目がじゃあどの深さに今日あるからって、ここで、その E L - 11、
2:12:33	118.5 からいえる前の 68.5 にあると考えられる。
2:12:37	それを踏まえると、マイナス 200 メートルまでってここもだから 1 回飛躍するんですね。ここがそのマイナス 200 メートルまで Q 値を見直すって言うてるのが、
2:12:48	ここも
2:12:50	いや、5 - 58.5 から - 118.5 までの Q 値を見直すはいいんだけどただそうすると、それより深いところで Q 値の逆転が起きるんでそれは変なんでまとめて見直しますなのか。
2:13:02	上ではそのカバーし切れないものがあるんで、下もひっくるめて、
2:13:06	マイナス 100 メートルまで含めてやることで相殺しようと言ってるのか。
2:13:11	いやいや E L - 118.5 より深いところはよくわからんので、明日なので、そこもやるのかとかですね、かかった考え方がはっきりしないと。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



2:13:21	これなぜ-200メートルまででいいんですかとかですね。
2:13:25	それより深いところはとかって、じゃあどこまで何をやればいいのかっていうのが、わからない資料になってしまうので、この考え方を整理してください。
2:13:35	いうところはこれは玄海の方もでも1点、同じようなことなんですけど、
2:13:40	何でこういう以上を踏まえて簡単に書いてあるんですけど、何でこういう流れになるんだらうっていうのがわからないので、今後論理構成は川内もしっかりしてくださいねということで、
2:13:50	お伝えをしておきます。
2:14:01	九州電力の本村です。玄海同様この8ページ、川内ですね、ちょっと論理構成をしっかりしたいと思います。
2:14:11	はい。それがないと、玄海の方は割と前回問題なっちゃっての原因がわかりました。判明しましたっていう説明になるんですけど、川内玄海の方は、どの深さに影響があることはわかりましたと言いつつ、
2:14:27	今回観測記録ですよねとれてるところの範囲のところでは、どう見直されてどう解消されたかって多分説明が、
2:14:35	できないというかそれ、マイナス200メートルまでいじっちゃってるがゆえに多分浅いところだけ見せても比較できないんだと思うんですけど、そうすると何か解消されたんだ解消されてないんだから最後わからない資料になってしまうので、
2:14:48	きちんと論理構築はしてください。
2:14:51	ということです。ここは何か、川内の方或いは
2:14:56	玄海も通して、ちょっとスケジュールの話は最後もう1回確認したいと思いますけど、他何かありますか。
2:15:06	規制庁の岸野です。今の話に関連するんですけどもこの8ページですね、
2:15:13	等-58.5から-200、旧値を見直すという方針は示されてるんですけど、
2:15:21	12月の16日の会合の後ろの方にあと補足③の資料なんかを見ると、
2:15:29	これよりもちょっと広い範囲ですかね、-18.5から-200のQ値を12.5から100に見なおしてみたんだけど、特徴的なピークは再現できなかったんで、あんまり関係ないというような説明だったと思うんですけど。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:15:44	今回、それもちょっと範囲を狭めた感じで-58.5 から-200 をもう 1 回チャレンジするっていうのは、この範囲に定めて、Q 値を変更すれば、
2:15:57	再現性が高まりそうだと何か見込みがあつてのことなのか、どういう考えに基づくものなのか教えていただけますか。
2:16:10	九州電力の明石でございます。12 月 16 日の参考につけた資料、述べたところとなかなかちょっと繋がりがわかりにくかったかと思います。
2:16:22	で、先ほどちょっとどっかで私もちらっと申し上げたかと思いますが、そもそも地震計がある範囲、118.5 メートルまでの範囲、或いはちょっと、
2:16:35	P S 検査を行った 200 メートルまでの範囲でもそうなんですけど、その範囲で Q 値を、結局 12.5 どころか 100 どころかいろいろ維持、
2:16:45	でも、0.1 秒から 0.2 秒の
2:16:49	ピークをカバーできるという、いう形にはならないというのはこれ、前回の会合資料の補足でも、書かせていただいた通りで、先ほど私もちょっとその旨を申し上げたところです。
2:17:05	で、じゃあどうするのかということについて、今回の方針立てで、最終的な確認としては、結局、
2:17:15	ちょっと言い方は適切ではないかもしれませんが、200 メートルな石井地震計の 118.5 メートル、ウーよりも上の範囲だけでカバーし、カバーしようとするともうそれはもう、
2:17:27	できないんだけど、とは言いながらじゃあ乾燥記録はカバーできないモデルですっていうわけにはいかないので、
2:17:34	200 メートルも深いところも含めてモデル全体として、カバーができる
2:17:40	ということをお示ししようという検討を行っているものです。ただし、58.5 メートルから深いところを、12.5 にして
2:17:52	浅いところで再現できるということを、リトライしようとしているものではございませんので、後はございませんで、すみません説明ぶりとして資料上わかりやすくなってませんが、
2:18:03	少なくとも観測事実を見てると 58.5 メートルよりも深いところに何かあるというのはこれ、明瞭に見えるので少なくともそこを見直すという判断はしなきゃいけないだろうと。
2:18:15	ということで、あとはちょっとその見直した結果が、もう加味して、モデル全体でカバーできるような形になるのかどうかというのをしっかりお示ししていこうと。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:18:26	いう流れでございます。
2:18:30	ちょっとなかなかしゃべりましたけどご理解いただけましたでしょうか。
2:18:35	キシノですはい。何となくわかりました。
2:18:38	私の受けとめが正しければなんですけど、8ページの3ポツ目のことについてはあんまり効果を期待してないっていうふうに聞こえましたんで、
2:18:49	なんだけど、4ポツの友田他でトータルトータルとしてって言い方が正しいかわかりませんが、妥当性を説明する措置に主眼を置いていく方針だという、
2:19:00	ことかなというふうに理解しましたけど合ってますか。
2:19:06	はい。九州電力の明石でございます。この8ページの3ポッチ明舞程度の90を、皆その効果に期待してないというか、
2:19:17	そこをどれだけ小さくても、浅いところだけで乾燥完璧でカバーするところに至らないので、トータルでカバーすることにしてその確認を4ポチで
2:19:31	行いますと。
2:19:32	というような流れでございます。
2:19:36	ちょっと岸野さんのご理解であってますでしょうか。
2:19:39	大城です。
2:19:42	多分やってるんだと思いますあまりちょっとここは追及してもという感じもしますんで、当8ページ右側の図を見ますと会議の時と違ってるのは競争は下がらないけど58.5以下で済まされるというようなことと、200メートルぐらいまで、
2:19:56	その分広げるというところで若干その12月に示された結果とは違う傾向なりが示されるのかもちょっと期待しつつ、
2:20:06	はい。ちょっと出て、どういう結果が出てくるか次第でまた評価が変わってくるのかなと思って、受けとめました。はい。私から以上になります。
2:20:23	はい。ちょっとさ最後すいませんスケジュールのところなんですけど。
2:20:28	川内の5ページですよね。
2:20:35	これはですよ。
2:20:38	ちょっと前回の面談の時のやつを、ちょっと手元を置いてないんですけど、二段階でやるのは確かに前回聞いていてですね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:20:48	これー、あれ。
2:20:51	基準地震動とか模擬地震はのところおって、結構こうね、3月中にはある程度見通しが立ってないと。
2:20:59	という、
2:21:01	話だったと思うんですけど。
2:21:03	ただ4月に星印が動いてるような気がしてこれもあれ、面談のときもこんなババ宇都のイメージでしたっけ、それとも玄海の方と、時間差をつけて、
2:21:14	限界を先に安定解析に回すので、
2:21:18	川内の方は安定解析タイミングが、ちょっと4月に年度を跨いでも、
2:21:24	トータルとして、作業はそっちの方が効率的なんですっていう
2:21:29	ちょっとそこら辺、
2:21:31	を確認したいんですけど。
2:21:34	何かきちんと3月ぐらいで、基準地震動を作って留年せずに、
2:21:41	というイメージでいたんですがこっって何か変えましたっけ、ちょっと面談の時のものが手元にぱっとないのであれなんですけど。
2:21:51	九州電力の本村です。すみませんちょっと面談資料を参考でもつけとけばよかったんですけど、面談資料から川内の方は変えてないですねスケジュールは。
2:22:00	さっきおっしゃられたちょっとん年度明けの4月、
2:22:06	の初旬ですかねここが、僕自身はS sの確定の会合というのは、面談の時と同じような示し方に同じ記載にしています。
2:22:16	はい、わかりましたそうか。だからみんなの時はこのスケジュールを見ながら、これは3月中じゃないとぎりぎりだよって、そんな話をしたんですね、わかりました思い出しました。
2:22:26	なので川内はですね、玄海ともに今田等、資料としては今1月ウーの2025人、4日か。
2:22:38	資料を一旦もらっていて、2月に方針或いは限界であれば、妥当性のところまで、
2:22:47	説明をしたいというものなんですけどおよそその今日の資料だと、これで対応にかけても、玄海の方はどちらかという方針めいたところまでは、
2:22:57	ある程度話できるかもしれませんが当然妥当性までは説明できないですし、川内の方は方針すらもというところではあって、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:23:07	一応そのご希望としては今のところその二段階っていうことではあるし、確かにその結果が全部出揃ってから初めてさあどんと出して、
2:23:17	ここ全然違うんじゃないかっていうと、そこはもう大きな手戻りになるんで、二段階でやるっていうところは、別に否定はしないんですけど、
2:23:26	ちょっといつぐらいに、今ですね、妥当性を示すと言ってる部分とかです。ね論理構成を示すといった部分で、どのぐらいで作業ができるのかとか、
2:23:39	というのは、見通しわーあたって今はすぐ出てこなそうですか。
2:23:45	ちょっとスケジュールのイメージぐらい頭に置いておきたかったと思っただんですけど。
2:23:51	川内。
2:24:19	あ、九州電力の本村です。ちょっと川内のスケジュールの見通しについてはちょっと今この場でですねちょっと申し上げ切れないところがちょっとありまして、
2:24:30	かといってリサーチ時間くださいっていうわけでもないんで、ちょっと明日でもですねちょっと状況をご説明し、御説明というか見通しの話は、
2:24:41	ちょっとさせてもらおうかなというふうに考えてご連絡させてもらおうかなと思ってます。ちょっとスズキ。
2:24:52	ちょっとその次のヒアリング資料1ぐらいにつけるかっていうところはわかりました。じゃあちょっとそこは連絡が来るということですね。はい。あと何で会合をどこだかっていう話は全体のスケジュールみたいな話であればまた面談なりですね。
2:25:06	ヒアリングなりってというのは次の設定しますんで、
2:25:09	ちょっと今今この場でパッと川内玄海どのぐらいで、今ここのスケジュールにあるようなですね、方針或いは結果も含めてって限界だと結果も含めてってところの、
2:25:21	表が出てくるから、この場ですぐは即答しかねるということですね。わかりました。
2:25:27	他何かございますかなければ、ちょっと時間をおっしゃいましたね。
2:25:37	で後、そちら九州電力の方から何か確認ありますでしょうか。なければ、ヒアリングはこれで終了します。
2:25:45	九州電力の本村です。こちらから特にございません。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:25:51	はい、了解しました。では、川内玄海の地下構造モデルの設定のコメント回答のヒアリング、1回目を以上で終了します。お疲れ様でした。
---------	---

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。